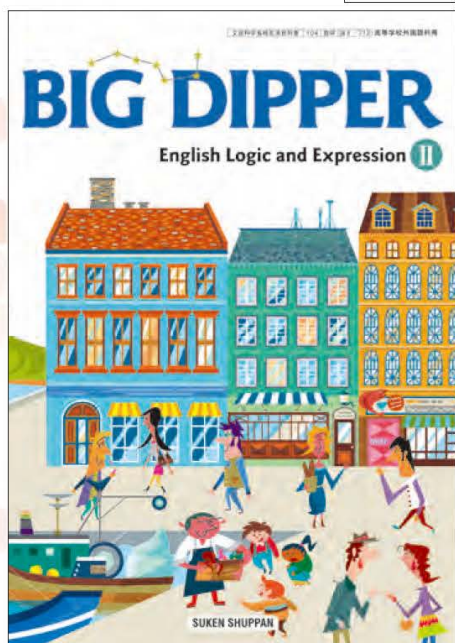


# ダイジェスト版

論Ⅱ／712



## 教科書

- 1 教科書の特色
- 2 目次
- 6 Q R コンテンツの紹介
- 8 PART 1 Lesson 4
- 10 Express It Logically 3
- 12 PART 2 Lesson 1
- 14 Tips for Express Your Opinion 2
- 15 Writing
- 16 Express It Logically 7
- 18 PART 3 Lesson 2
- 20 巻末 Useful Expressions・Index
- 21 教材配当表

## 教授資料・準拠周辺教材

- 22 TEACHER'S MANUAL PART 1 Lesson 4
- 26 PART 2 Lesson 1
- 30 Teacher's Book PART 1 Lesson 12
- 32 PART 2 Lesson 5
- 34 付属 DVD-ROM データ
- 40 参考書 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語
- 41 文法準テキスト・ワークブック
- 42 文法問題集
- 44 ワークブック

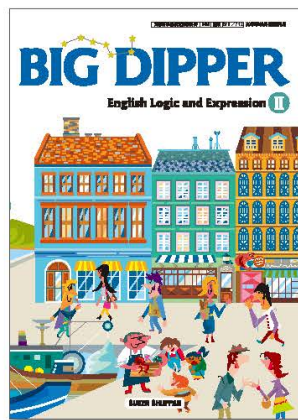
## デジタル教科書

- 46 デジタル教科書・教材 / 副教材



教科書のご案内サイトは  
こちら！

# 「文法・言語の働き」を定着させ、コミュニケーション能力を育成する教科書！



## BIG DIPPER English Logic and Expression II 論II / 712 (B5判・128頁)

詳細は  
こちら！



### 教科書の特徴

#### POINT

1

#### 学習しやすい 3パート / 見開き2ページ 構成

##### A. 3パート構成

PART 1: 論理的な英語表現の基礎〔文法〕 / PART 2: 場面別・機能別表現 / PART 3: プレゼンテーション・ディスカッションなどの高度な言語活動を習得する3パート構成となっています。

##### B. 見開き2ページ構成

見開き2ページの小ユニットで1レッスンが完結するので、テンポよく学習を進めることができます。各レッスン内で、INPUT (簡明な解説・用例) → INTAKE (練習問題) → OUTPUT (自己表現活動) の流れをもった、豊富な演習を設けています。

#### POINT

2

#### 「論理・表現」の力を向上させる、無理のない学習

表現活動に必要な文法の基本から、構文・イディオムを用いた機能表現まで、ムダなくムリなく、大学入学共通テストに対応するための基礎力を養うことができます。インプットされた言語材料を実践的に活用する演習を随所に設けており、「論理・表現」の力をムリなく伸ばすことができます。

#### POINT

3

#### リスニング・リーディング (音読) 力の育成も可能

リスニング活動と関連付けた演習が豊富で、「論理・表現」の授業において、「リスニング力アップ」(共通テスト等の準備演習)が可能となっています。モデル文 (文章、対話文) はリーディングの素材としても活用可能で、聞き手を意識した「音読」を習得させる構成にもなっています。

#### 編集委員紹介 ①現職名 ②専門

##### 南出 康世

- ①大阪女子大学名誉教授
- ②英語学 (語彙意味論, 辞書学)

##### Lawrence Schourup

- ①大阪府立大学名誉教授
- ②言語学 (談話標識, 文体論)

##### David Lehner

- ①武庫川女子大学非常勤講師
- ②言語学 (バイリンガリズム)

##### 小栗 裕子

- ①元 関西外国語大学教授
- ②英語教育学, 第二言語習得論

##### 西川 眞由美

- ①摂南大学特任教授
- ②英語学 (語用論, 辞書学)

##### 三村 浩一

- ①元 帝塚山学院大学教授
- ②英語学 (文法論), 英語教育学

##### 高田 哲朗

- ①京都外国語大学非常勤講師
- ②英語授業学

##### 杉本 喜孝

- ①帝塚山学院大学准教授
- ②CALL教材の開発および指導方法と評価方法の研究

##### 道中 博司

- ①帝塚山学院中学校高等学校教諭
- ②ライティングの効果的な指導方法と評価方法の研究

#### I・IIの関連について

\*文法事項・機能表現などに関して、繰り返し学んで理解を深める「スパイラル学習」を促進します。

##### I 〈コミュニケーションの基礎となる表現〉

基本的な文法事項・機能表現
助動詞・不定詞・分詞・関係詞など
提案・依頼・願望・意見を述べる表現など

##### II 〈Iの復習+α, より高度な言語活動〉

重要事項の繰り返し学習
+ 助動詞 (used to, would)・完了不定詞・分詞構文・関係詞の継続用法など
+ if I were you・Could I ask you to do?・feel like doing・to be honest など

### 教材ラインアップ





# CONTENTS

IIの学習にあたり、英語表現力を伸ばしていくための留意点を改めて確認します

「論理・表現Ⅱ」では、「論理・表現Ⅰ」で  
するやや高度な構文・表現までを体系的に  
事項を繰り返し学んで理解を深める「スパ

学んだ基本事項を根幹として、それに関連  
扱います。Ⅰ→Ⅱと使用することで、重要  
イラル学習」が可能となっています。

## Space

【宇宙】 50

はじめに 英語表現力を効果的に身につけるには / ルーブリック (評価基準表) 5

## PART 1 Building a Basis for Logical Expression

生徒が互いに活動を評価するた  
めのルーブリックを掲載  
[→ Pt.1, Read Aloud に活用]

PART 1 で論理的な英語表現の  
基礎 [文法] を習得  
<Grammatical Syllabus>

PART 1 の配列は、小社文法テキスト  
『21 ディッパー英文法』とほぼ同じです

英語の発音 (音のつながり・脱落、  
リズムなど) に関する注意点

英文パラグラフの基本構成 (主題  
文→支持文→まとめ文) を確認

L.1 ~ 16 の難易度は緩やかな傾斜 / 2 年次以降の  
学習に適切な内容となるよう、I の反復+補充とし  
て、重要事項を精選しています

要約文作成のプロセスを学習

よりよいコミュニケーションを行う  
ためのポライトネスを考える

ライティングでの解答の、ルーブ  
リックを用いた自己評価 (推敲)

Lesson 1	School Festival	
Lesson 2	A Trip to Sapporo	
Lesson 3	My Dear Friend	
Lesson 4	A Dog in a Barbershop	
Lesson 5	Japanese Food	
Lesson 6	Volunteer Activities	
Lesson 7	A Stage Actor	
Lesson 8	I Like Singing	
Lesson 9	Cycling	
Lesson 10	My New Hiking Boots	
Lesson 11	The Yangtze River	
Lesson 12	My Sister's Job	
Lesson 13	In Kansas City	

Lesson 15	An Android Like You	
Lesson 16	I Left My Smartphone	
Express It Logically 4	英語でエッセイを書いてみよう【エッセイ・ライティング】	
和製英語	身近な和製英語を取り上げ、英語に関する理解を深める	

## PART 2 Communicative Function

PART 2 では言語の働き (function) を中心に習得  
<Functional Syllabus>

Lesson 1	What's Your Favorite Dish?	
Lesson 2	Uniforms or Casual Clothes?	
Lesson 3	Project Studies Program	
Lesson 4	A Guitar Concert	
Lesson 5	Studying Abroad	
Lesson 6	What Should I Do?	
Lesson 7	A Korean Drama	
Lesson 8	Going Bird Watching	
Lesson 9	Meeting the Deadline	

ポスターや広告、グラフの内容に関する伝達



Lesson 10	Friendship Festival	【交流】	94
	◎英語で感謝・喜びを述べることができる。		
Lesson 11	Returning a Magazine	【失敗・落ち度】	96
	◎英語で謝罪する・謝罪に応じることができる。		
Lesson 12	What Is Your Opinion?	【事業】	98
	◎英語で個人的なディスカッションへの応用		
	Tips for Express Your Opinion ④・Writing <Lessons 10-12> 100		
	Express It Logically 8 図表の内容について伝達してみよう (2) 102		
PART 3 Advanced Communicative Activities			
	天気予報や道案内などを題材とした実践的な対話・プログラムの内容の説明		
Lesson 1	Making a Manuscript	【Presentation ①】	106
	◎プレゼンテーションの原稿を作ってみよう		
Lesson 2	Making Your Presentation More Effective		
	◎プレゼンテーションをより効果的なものにするには		
Lesson 3	Being an Active Listener	【Presentation ③】	110
	◎プレゼンテーションを聞くときの注意点		
Lesson 4	Having a Discussion	【Discussion ①】	112
	◎ディスカッションを行ってみよう		
Lesson 5	Speaking in Order	【Discussion ②】	114
	◎ディスカッションにおける適切な発言のしかた		
Lesson 6	Thinking Logically and from Different Angles	【Debate ①】	116
	◎ディベートを行う意義(論理的・多面的に考える力を養う)		
Lesson 7	Sharpening Your Thinking Ability	【Debate ②】	118
	◎ディベートを通じて思考力に磨きをかけよう		
Useful Expressions		各レッスンの主要例文のポイントを書いて覚えるページ。文法・表現の総まとめに最適	120
Index			126

表現別さくいん

※このほか、前見返しでは英文手紙・emailの書き方を、後ろ見返しではPunctuation(句読法)のまとめを掲載



教科書の各ページに記載した二次元コードをタブレットPCやスマートフォン等で読みとること、理解を深めるコンテンツやツール、学習の参考になる情報\*にアクセスすることができます。必要に応じて活用してください。なお、インターネット接続に際し発生する通信料は、使用される方の負担となりますのでご注意ください。

理解を深めるコンテンツやツール、学習に資する参考情報にアクセス

〔URL: <https://www.chart.co.jp/qr/22ee2/>〕

\*主要例文の音声、補充問題・確認用プリント、発音練習ツールをご用意しています。

## 本書の構成

学習しやすい3パート構成 / 言語活動も充実

本書は大きく3つのパートによって構成されています。Part 1では英語表現における基本的なルールを、Part 2では言語の働き(機能)を意識した表現を習得し、Part 3ではpresentationやdebateなどの総合的なコミュニケーション活動を学習します。

## Part 1 [本課]の構成

左ページ ▶ 基本例文・Listen and answer:

各課で学ぶべきポイントを含む基本的な文章と、それに関するリスニング問題

Read aloud:

ペアでの音読練習(p.8のループリックでお互いを評価してみよう。)

Tips for Expression: ポイントとなる表現の簡単な解説

Think and Express! A: 図絵の内容を自分で思考・判断し、表現する活動

右ページ ▶ Think and Express! B: まとまった文章内容を自分で表現する活動

リスニング問題→キーワードの書き取り→リテリング(聞いた内容を自分のことばで表現する活動)

Express Yourself!: モデル文などを参考に文章を書き、その内容(音読)を軸にして対話を行う活動〔S...Suggestions: 文章を書くうえでのヒント〕

## Part 2 [本課]の構成

左ページ ▶ Model・Listening Quiz・Expressions:

各課で習得すべき言語の働き(機能)をもつ表現を含む用例と、リスニング問題

Think and Express! A: 図絵の内容を自分で思考・判断し、表現する活動

右ページ ▶ Think and Express! B: 対話などの内容を要約して伝える活動

リスニング問題→ディクテーション(空所補充形式の書き取り)→リテリング(自分のことばで要約する活動)

Express Yourself!: モデル文などを参考に対話を行い、グループワークでやり取り・発表を行う活動

Express Your Opinion: 題材に関連したトピックについて意見を述べる活動

●3課おきにExpress Your Opinionのヒントと、Writing(emailなど)の練習を補足。

## PART 3 について

PART 3ではpresentation, discussion, debateといった、比較的高度な言語活動を学習します。情報や考えをまとめて発表する、グループで多様な意見を述べ合うなど、より総合的なコミュニケーションを行う力を身につけましょう。

## Express It Logically について

本課3-4レッスンごとに、パラグラフの構成法や、図表の読み取り・表現、要約文の作成など、論理的な英語表現を行ううえでの留意点をまとめています。

●上記のほか、pp.5~7の「はじめに」では、英語表現力を効果的に身につけるための注意点を記していますので、ぜひ読んでおいてください。「和製英語」などのコラムも、英語表現の幅を広げることにつながるでしょう。また、巻末 Useful Expressions(重要表現の復習)、INDEX(表現別さくいん)を用いて、繰り返し表現練習を行うことで本書の内容を定着させましょう。



# 充 実 の Q R コ ン テ ン ツ

教科書紙面に掲載している QR コードから、以下のコンテンツにアクセスできます。



サンプルはこちら！

## 1 例文リスニング（音声再生）

PART 1,2,3 のモデル文・Expressions・用例などの音声再生が可能です。

### ●主な機能



- 再生方式** : 通常再生／リピート再生／シャッフル再生 など
  - テキスト表示** : スクリプト表示の有無
  - 表示内容** : 全文表示／パラグラフ表示 など
  - 文字サイズ** : 大／中／小
- \*再生内容により、選択できる項目は異なります。

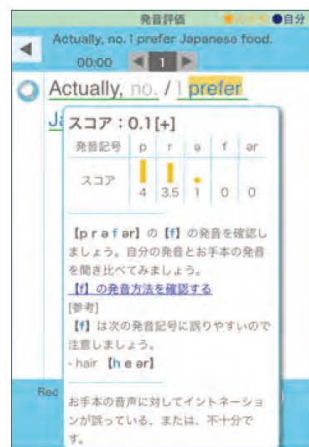
- 3秒戻る**
  - 速度調整** : 0.5倍／0.75倍／0.9倍／1倍／1.1倍／1.2倍／1.3倍／1.4倍／1.5倍／1.75倍／2倍
  - 再生位置** : 再生位置の確認／手動での再生位置の調整
- \*スマートフォンの横置き表示にも対応しています。

## 2 音読練習（数研発音マスター）

PART 1,2 のモデル文・Expressions などについて、手本となる音声と、自分の音声の一致度を判定できます。右下図のように、課題がある箇所には具体的なアドバイスが表示されます。



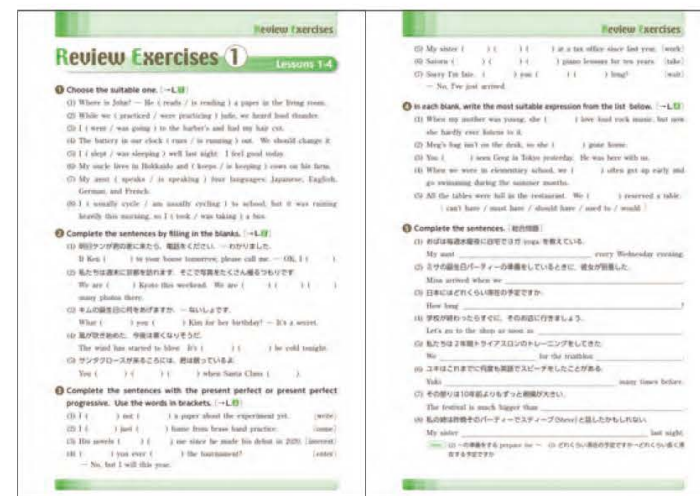
▲英文の音読画面



▲スコアの判定画面

## 3 復習問題

PART 1・PART 2 の学習ポイントを復習する問題をご用意しています。



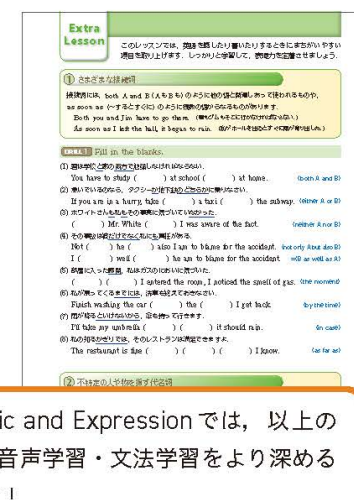
▲PART 1 復習問題



▲PART 2 復習問題

## 4 文法ポイント解説・確認問題・品詞類の学習

上記 ①～③のほか、PART 1 文法ポイントの解説、PART 2 確認問題、注意すべき品詞類（接続詞・代名詞・形容詞など）の解説をご用意しています。



BIG DIPPER English Logic and Expression では、以上の「QR コンテンツ」により、音声学習・文法学習をより深めることが可能となっています！



# Lesson 4

「4 技能の統合的演習」の中で、文法のポイントを確認できます



モデル文章リスニング・発音判定、Pt.1 主要例文リスニング、ポイント解説 pdf、復習問題・解答 pdf

① There **used to** be a barbershop at that corner. ② I **would** often go there with my brother. ③ There was an old dog there. ④ When we went to the shop, the dog always barked loudly. ⑤ It **must have been** very shy, or it **may just have been** happy to see us.

① 以前あそこには兄とよくそこへ行って、古い犬がいました。イヌはいつも怖がりだったにちがいない、あるいは、私たちが会えてうれしかったかもしれません。

INPUT: モデル文

各課で学ばべきポイントを含んだ英語の文章(モデル文)。学習者に身近な題材を取り上げています

INTAKE: Listen and Answer

モデル文に関するリスニング問題(文章に関する音声での質問)。内容や文法事項の定着を図ります

## Listen and Answer

- (1) \_\_\_\_\_  
(2) He thinks \_\_\_\_\_

INTAKE: Read Aloud

文章の音読練習。書き手の気持ちになって、相手に伝えることを意識させる活動です。教科書 p.8 に掲載したルーブリックを用いて、学習者間評価を行います

## Read Aloud

Work in pairs. Grade each other's reading. (⇒ p. 8)

① Fluency	② Pronunciation	③ Attitude	Total

### Tips for Expression

- 現在と対比して客観的に「以前は～が、今は～」または、過去のことを思い起こして主観的に「～だった」を表す(→ ②)。
- 過去のことについて、現在の時点で「～だった[した]にちがいない[～だった[した]かもしれない]」と推量する場合は「must[may] have + 過去分詞」の形を用いる(→ ⑤)。

INTAKE: Tips for Expression

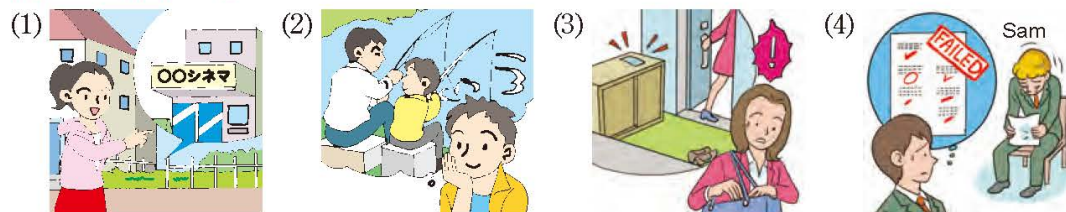
モデル文中の文法ポイントの解説。文法項目の整理

INTAKE ~ OUTPUT: Think and Express! A

図絵の内容を自分で思考・判断し、各課の学習ポイントを適切に活用する練習です

## Think and Express! A

Look at the pictures and complete the sentences. Use (1) used to, (2) would, (3) must, (4) may.



- (1) There \_\_\_\_\_ there.  
(2) I \_\_\_\_\_ with my father.  
(3) I can't find my commuter pass. I \_\_\_\_\_.  
(4) Sam looks sad. He \_\_\_\_\_.

Can-do!

- ☐ 表現 過去の状態や習慣、過去についての推量などを英語で表現できる。  
☐ 話題 過去の身の回りの状況や思い出などについて、英語で表現できる。

各課の到達目標を Can-do statement (能力記述文) の形で示しています

## Think and Express! B

① Listen to the passage and answer the following questions. \* The speaker is a girl.

- (1) When did the speaker meet Daisy?  
\_\_\_\_\_  
(2) What would the speaker often do?  
\_\_\_\_\_  
(3) Why does the speaker think she should not have fed Daisy so much fish?  
\_\_\_\_\_

② Listen to the passage again

OUTPUT: Think and Express! B

① モデル文とは異なる文章を音声で聞いて、それに関する内容確認問題を解く → ② 再度文章を聞いて、キーワードを書きとる → ③ キーワードを用いてイラストをヒントにリテリングを行う、という活動です。ディクトグロスにも活用可能です

③ Look at the pictures and retell the passage, using the words written above.

(You do not have to reproduce the passage exactly.)



◆ You can refer to the passage on p. 23 if necessary.

## Express Yourself!

① Write a passage of a few sentences about your elementary school days.

S When I was.... / park / friend / play / read / catch fish[insects] / innocent

OUTPUT: Express Yourself!

[1] モデル文などを参考に、自分に関する文章を書く → [2] ペアで音読し、その内容に関して質疑応答を行う。「書く」「話す」「発表・やり取り」を統合的に育成する演習です



② Work in pairs. ① Student A will read aloud the passage to student B. B can take notes about what A says. ② B will ask questions or make comments about A's passage. (Then switch roles.)



## パラグラフの「展開」を工


論理的文章構成の要点をまとめました (パラグラフ・ライティング)。パラグラフの構成・展開法、エッセイ・ライティング [複数パラグラフでのライティング] を学習することで、段階的に「書く」活動の内容を充実させていきます  
※実際には見開き 2 ページ構成となります  
[パラグラフ・ライティング③]

## 1 比較・対照による展開

代表的なパラグラフの展開パターンを紹介

比較・対照 (Comparison and Contrast) のパラグラフ展開法では、2 つ以上のものを比較して、類似点や相違点を挙げて説明します。事例を比較・対照することによって、主題文で述べることをより明確に伝えることができます。

Ex.) There are differences between how New Year's Day is celebrated in Japan and in the U.S. In Japan, many people celebrate the beginning of the year by eating feast food called *osechi*, going to shrines or temples, and spending time with their family. In contrast, in the U.S., many people go to New Year's Eve parties and shout or sound horns when the year changes at midnight. As in Japan, people usually stay home with the family on New Year's Day, but unlike in Japan, many Americans return to work on January 2nd.

New Year's Day	Japan	The U.S.
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• eating <i>osechi</i></li> <li>• going to shrines or temples</li> <li>• spending time with their family</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• going to New Year's Eve parties</li> <li>• staying home on New Year's Day</li> <li>• returning to work on January 2nd</li> </ul>

## ◆ 比較・対照を示す表現

while, however, although; on the other hand, on the contrary, in contrast  
<相違点を示す語句> different, difference, differ from; unlike; 比較級など  
<類似点を示す語句> similar, similarity; have ~ in common; like, alike

\* 文脈に沿うように、( ) 内に適切な語を入れてみよう。

学習事項の定着を図る練習

At first it might seem that rugby football and American football are similar sports, but they are actually very ( ) ( ) each other. In fact, the two sports have very little in common. A rugby team has ( ) ( ) on each side, while an American football team has eleven players. ( ) American football, players should not throw the ball forward in rugby games. Also, American football players wear sturdy\* protective gear, which ( ) ( ) do not. (\*がんじょうな)

## 2 原因と結果による展開

原因と結果 (Cause and Effect) のパラグラフ展開法は、物事の因果関係を述べるもので、説明文によく用いられます。「原因→結果」の順で展開する場合もあれば、「結果→原因」の順に述べる場合もあります。

## Further Activities 3

図表を用いた問題など、Express It Logically の学習事項を活用する activity が充実。「資格・検定試験」の問題に通じる内容となっています

- 1 The table below shows the percentages of people in two age groups who watched various kinds of sporting events on TV or the Internet in 2019. Explain the contents of the table, comparing the two age groups.

(参考: スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」令和 1 年)

Rank	Age 50-59	(%)	Age 20-29	(%)
1	Rugby	45.1	Professional Baseball	38.9
2	Professional Baseball	43.2	High school Baseball	37.8
3	High school Baseball	42.7	Rugby	32.9
4	Soccer (Japan National Team)	37.6	Soccer (Japan National Team)	32.1
5	Marathon / Ekiden	36.3	(Did not watch sporting events)	31.2
6	Skating / Ice Hockey	35.7	Volleyball	24.3
7	Grand Sumo	27.3	Marathon / Ekiden	18.1
8	Tennis	27.0	Skating / Ice Hockey	16.6
9	(Did not watch sporting events)	24.5	Soccer (J-League)	15.2
10	Volleyball	24.0	Tennis	14.1

学習ポイントを使って文章を論理的に構成する練習。書いた内容を読み直す習慣をつけるチェック欄付き

→ 読み直し ☐

- 2 Describe the situation shown in the pictures. (Speak impromptu.)



- 3 Suppose your class ran a juice stand at the school festival and it was very successful. Write a passage about this in which you tell why the stand was successful. Begin with the following sentence:

Our juice stand was a great success. \_\_\_\_\_

→ 読み直し ☐



# Lesson 1

「4 技能の統合的演習」の中で、英語表現上のコミュニケーション機能（言語の働き）を学習



## Model

**Rika:** Bob, you prefer Western food to Japanese food, don't you?  
**Bob:** Actually, no. I prefer Japanese food.  
**Rika:** Oh, do you? What's your favorite Japanese food?  
**Bob:** I'm a big fan of sushi. I often go to sushi restaurants with my family.  
**Rika:** Really? I'm also fond of sushi. Let's go and eat sushi together someday.

モデル文章リスニング・発音判定, Expressions リスニング・発音判定, Think and Express! B リスニング, Pt.2 全主要例文リスニング, 確認問題・復習問題・解答 pdf

リカ：ボブ、あなたは和食よりも洋食のほうが好

INPUT：モデル文

各課で学習する機能表現を含むモデル文で、dialog・speech などさまざまな種類の英文を取り扱っています。また、リスニング問題で内容確認が可能です

しよに、よくお寿司屋さんに行っているよ。

リカ：ほんとう？私もお寿司が好きだわ。いつかいつしよにお寿司を食べに行きましょう。

## Listening Quiz 1. T・F 2. T・F 3. T・F

## Expressions for < Likes and Dislikes >

- I prefer apples to oranges.
- Sashimi is my favorite dish.
- Mr. Brown is a big fan of omelets.
- I'm fond of Korean food.
- I don't much care for cheese.
- Ann dislikes[hates] green peppers.

INPUT：Expressions

モデル文で扱った機能表現に類する表現を、例文を用いて補足しています

- 刺身は私が一番好きな食べ物です。
- ブラウンさんはオムレツが大好きです。
- 私は韓国料理が好きです。
- チーズはあまり好きではありません。
- アンはピーマンが苦手[大嫌い]です。

Note 5. care forは、通例 否定文・疑問文などで用いられる。

INTAKE~OUTPUT：Think and Express! A

図絵の内容を自分で思考・判断し、各課の学習ポイントを適切に活用する練習です

## Think and Express! A

Look at the pictures and express your likes or dislikes about the foods they show. Each comment should be more than ten words in length.

Ex.) I like cookies. I bake cookies at home once a month. It's enjoyable.



okonomiyaki



omu-rice



dorayaki

- 
- 
- 

Can-do! ☐ 機能 英語で好き嫌いを述べることができる。 ☐ 話題 自分の好きな物について英語で表現できる。

## Think and Express! B

### 1 Listen to the dialog between

- What is Karen's favorite food?
- What does Paul dislike?

OUTPUT：Think and Express! B

①モデル文とは異なる対話文等を音声で聞いて、それに関する内容確認問題を解く → ②再度対話文等を聞いて、ディクテーション、対話練習を行う → [Retelling] 対話文等を要約して、自分のことばで第三者に伝えるように文章を作る、という活動です

### 2 Listen again and fill in the blanks. Then, play the roles of Paul and Karen.

Paul: What's your ( ) food, Karen?

Karen: I love sushi. Especially, I'm a big ( ) of ikura. How about you?

Paul: I like hamburgers. I ( ) I could eat them every day. Are there any foods you ( )?

Karen: None that I strongly dislike. But I don't much ( ) for natto.

Paul: Myself, I like natto. I ( ) shiitake mushrooms, though.



## Retelling Summarize the dialog.

Paul and Karen are talking about

Karen ② \_\_\_\_\_, while Paul  
 doesn't much ④ \_\_\_\_\_  
 but ⑥ \_\_\_\_\_

OUTPUT：Express Yourself!

[1] モデル文などを参考に、ペアで対話を行う → [2] ペアでの対話を他のペアに発表し、その内容に関してグループで質疑応答を行う。さらに Express Your Opinion で、自分の意見と理由を話す練習を行う。「話す[発表・やり取り]」技能をさらに伸長させる活動です

## Express Yourself!

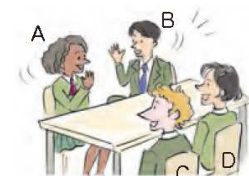
※相手の意見に共感・同意する表現なども、積極的に使ってみよう (→ p.82).

### 1 Work in pairs. Make a dialog about a food you like or dislike.

rich / plain / texture / go well with rice / make me happy[feel refreshed / energetic]

◆ As preparation, you can write down some key words in the box below.

### 2 Work in groups. Students A and B will show their dialog to students C and D. C and D will ask questions or make comments about it. (Then switch roles.)



## Express Your Opinion

▶ Do you like cooking? Why or why not?



## Tips for Express Your Opinion ②

**Express Your Opinion** でライティングを行う場合は、40～50語程度、5～6文程度でまとめた考えを書くことを目標にしましょう。スピーキングの場合と同様、「自分の意見とその理由」を、理解しやすい構成・内容で書いてみましょう。

### 構成①

主題文（自分の意見）  
理由① → 説明・具体例①  
理由② → 説明・具体例②  
(→まとめ文)

この構成では、自分の意見を述べた後に、理由を2つ書き、それぞれについて補足説明を行います。I think ～. This is because ～. Also, ～. のような展開で文章を構成するとわかりやすいでしょう〔This is because ～, Also, ～ の後には、それぞれの説明・具体例を表す文を入れる〕。

### 構成②

主題文（自分の意見）→ 理由① → 理由② → 理由③ (→まとめ文)

この構成では、よりシンプルに理由を列挙していきます。I think ～. First, ～. Second, ～. Third, ～. のように述べ、最後にまとめ文として For these reasons, I think ～. という文を付け加えてもよいでしょう。また、There are three reasons for this. と前置きをして理由を列挙する述べ方もあります。

以上は基本的な構成であって、例えば **構成②** で詳細な具体例を付け加えていくなど、より長い文章を書く練習も行ってみましょう。

## Suggestions

### Lesson 4 (人前で何かを演じる経験は大事か)

**Yes** self-confidence / aim / practice / weak point / job / opportunity

**No** not necessarily / nothing to perform / presentation / study / shy

### Lesson 5 (外国に留学したいか)

**Yes** cultural understanding / broaden my viewpoint / experience

**No** expensive / anxious / food / dangerous / difficult to communicate

### Lesson 6 (「勉強に集中できない」と言う人への助言)

▶ separate ～ into small units / decide on a time for studying / strong will

## Writing

\*各レッスンに関連した題材で、ライティング力を強化しよう！

### 1 行事に誘う[→L.4 A Guitar Concert]

▶ Write an email inviting your friend to an event.

(友だちを行事に誘うEメールを書いてみよう。)

To:	Mariko
Subject:	Potluck party (Ray)
<p>Hi, Mariko. We are having a potluck party next Saturday at my house. It begins at 11:30 a.m. Dave, Jane, and Yoko are coming, and I'm also going to ask Sue and Koji. Would you like to come? I'm looking forward to your reply. Thanks.</p> <p>Ray</p>	

注 a potluck party 「持ち寄りパーティー」

▶ **Structure** 簡単なあいさつに続けて、行事の概要（日時・参加者など）を記す。相手を誘うことばと、返事がほしい旨を書いて締めくくる。

### 2 計画を述べる[→L.5 Studying Abroad]

▶ Write about your plan for achieving a goal. (目標を達成するための計画を書いてみよう。)

Ex.) I want to watch English movies without subtitles. To achieve this goal, I've made the following plan. First, I will choose a movie and watch it with Japanese subtitles. I will simply enjoy the story at this stage. Then I will watch the movie with English subtitles to be sure I have understood what the actors are saying. Finally, I will watch the movie with no subtitles. I hope I will be able to understand it well.

▶ **Structure** 主題文で「自分の目標」を記す。支持文でそれを達成するための計画などを説明し、まとめ文で希望・展望などを書いて締めくくる。

### 3 悩みに対して助言する[→L.6 What Should I Do?]

▶ Read the following email from Jack and reply to him with some advice.

(次のジャックからのEメールに対して、助言を含めた返事を書いてみよう。)

To:	Jun
Subject:	May I ask your advice? (Jack)
<p>I'd like you to advise me. I've fallen in love with a girl in our class. My mind is occupied with her, so I can't study very well these days. I think it would be better to tell her about my feelings, but I don't want to disturb her because she seems to be working very hard these days to enter college. What should I do?</p> <p>Jack</p>	

▶ **Structure** だれについて話しているのかを想定して、それに応じた助言を行うようにしてみよう。最後に Good luck! など励ましのことばを付け加えるとよい。





## 図表の内容について伝達してみよう (1)

日常生活やプレゼンテーションの場面では、図表を用いたコミュニケーションもよく見られます。ここでは実際の状況を想定しながら、自分の考えが効果的に伝わるように、理路整然とした内容の文章を書く練習をしてみましょう。

問題演習中心で、適宜用例や解説を補足しています

### 1 ポスターや広告について伝達してみよう

- 1
- (1) You find the advertisement on the right. Write an email in which you invite your friend to take a trial lesson with you.
- (2) You want some more information. Write an email to the address on the advertisement, or to Mr. Harris, in which you ask two questions about the content.

**Boxing Fitness**  
**EAST NORTON**  
**Boxing Gym**  
**Turn Fat into FIT!**  
**FREE Trial Lesson!**  
 ♦Free Equipment ♦Large Parking Lot  
 ♦Self-Defense Lessons also available!  
 ★ Three-minute walk from Norton Station  
 For more information, please email  
 Davy.Harris@sevenstars\_plow.com

**FLEA MARKET**  
**&**  
**LIVE MUSIC**  
**Sat., Oct. 25 – Sun., Oct. 26**  
**10 AM – 4 PM**  
**West Park**  
 ★ WE ARE LOOKING FOR  
**VENDORS AND MUSICIANS.**  
 If you are interested, please email  
 Lauren.Brown@FMLM\_united.com

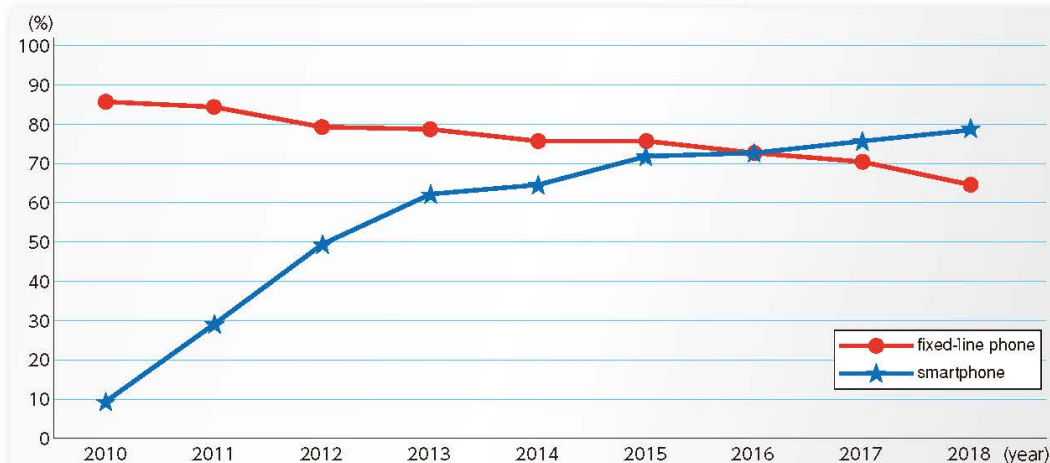
**Hint** (1) 友人宛ての Eメールは、Hi, ~. など始めて、Regards, (よろしく) や Let me know. (連絡をください) のあとに自分の名前を書いて締めくくる。 (2) 広告主への問い合わせは、Dear Mr./Ms. ~, のあとに I'm writing to ask you a few questions about ~. と Eメールの主旨を書き、具体的な質問を記して、I look forward to hearing from you. (連絡をお待ちしています) など + Thank you, (よろしくお願ひします) + 自分の名前で締めくくる。

## 2 グラフについて述べてみよう

- ▶ Write a short essay about each chart. Summarize the information and add what you think about it.

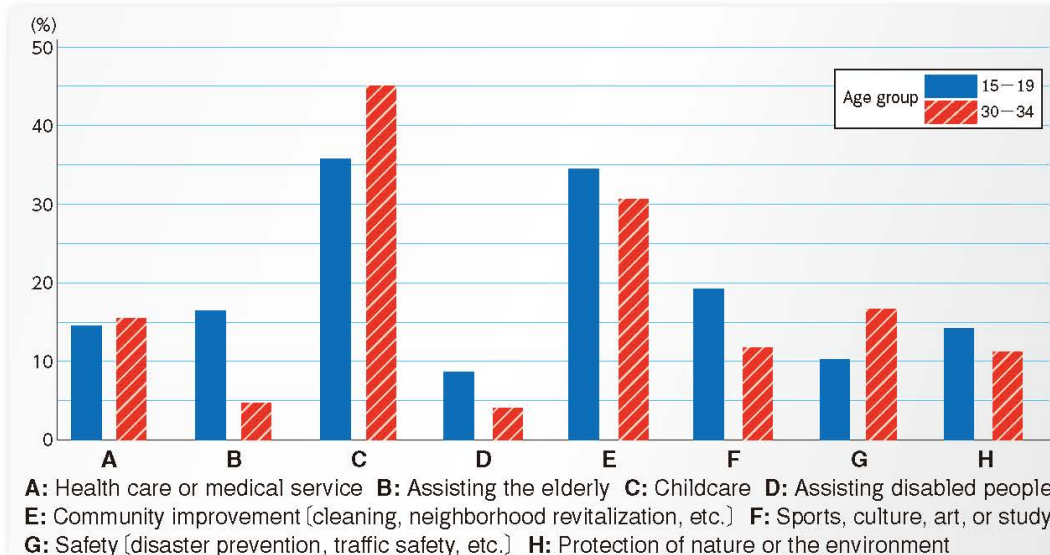
### 1 Percentage of families owning fixed-line phones and smartphones

(参考：総務省「通信利用動向調査」)



### 2 Percentage of volunteer workers doing different types of volunteer activities in 2016

(参考：総務省「社会生活基本調査」平成28年)



**Hint** まず The chart shows... と概要を述べて、グラフが示すいくつかの特徴を要約して記す。自分の意見としては、過去の事実に関する発見や、今後の予想、改善すべき点などを述べるとよい。種々のプレゼンテーションにおいても、図表を活用してみよう (→p.108)。

**S** increase / decrease / sharply / rapidly / gradually / slowly / remain flat[at the same level] / go up[down] from A to B / X percent of ~ / twice[X times] as large as ~ / one third of ~ / by two times[half, X percentage points]



# Lesson 2

## Making Your Presentation More Effective



### Presentation 2

このレッスンでは、presentation をより効果的に、多くの聞き手に内容を理解してもらえるよう、

プレゼンテーション [3 課]・ディスカッション [2 課]・ディベート [2 課] に関し、見開き 2 ページごとに「解説～Let's Practice! (実戦練習)」の構成をとっています。グループワークなどを行うことで、アクティブ・ラーニングに活用できます

### 1 発表に役立つ表現をうまく使おう

presentation を行うときは、次のような表現をうまく使うと、話し手は自分の考えをまとめやすくなり、また聞き手も話される内容を予測することができ、理解しやすくなります。

a	導入	<p>◆ Do you know/like ~? (~を知っていますか/～は好きですか)</p> <p>◆ Today I'd like to talk[tell you] about ~. (今日は～について発表したいと思います)</p>
b	例示	<p>◆ For example[instance], ~. (例えば～)</p> <p>◆ To illustrate this point, ~. (この点の例として、～)</p>
c	列挙	<p>◆ First, ~. Second, ~. Third, ~. Finally[Last], ~. (第一に～. 第二に～. 第三に～. 最後に～)</p> <p>◆ First of all, ~. Then, ~. Next, ~. Finally[Last], ~. (まず最初に～. それから～. 次に～. 最後に～)</p>
d	話題の転換	<p>◆ So far I've talked about ~. (ここまででは～について話しました)</p> <p>◆ Now we'll move on to ~. (では次に～の話に移ります)</p>
e	詳述	<p>◆ Let's find out why/how ~. (なぜ/どのように～か、みていきましょう)</p> <p>◆ Let me go into detail[say a little more] about ~. (~について、詳しく [もう少し] 述べたいと思います)</p>
f	結論	<p>◆ In conclusion, ~. (結論として～)</p> <p>◆ In summary, ~. (要約すると～)</p>

前ページの原稿でも、上記の表現などを用いて、発表の構成・展開をわかりやすくしています。

### 2 写真・図や、統計資料を活用しよう

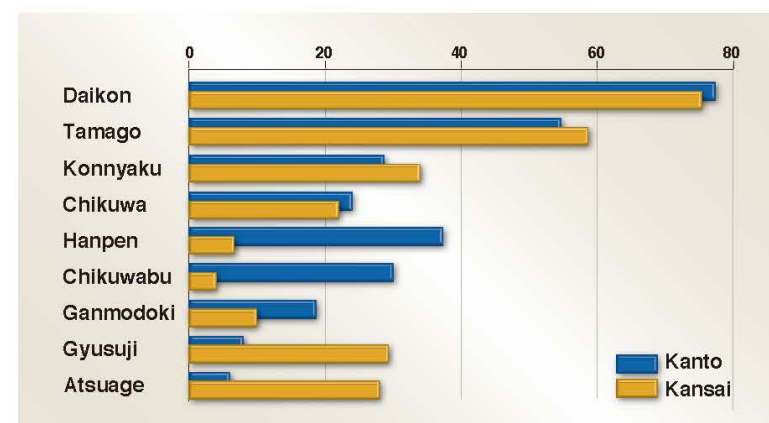
presentation においては、写真や図、あるいは統計資料 (グラフ・表など) を適切に用いることで、聞き手の注意を引いて、理解を深めることが可能となります。例えば、おでんの具材の「練り物」を留学生などに紹介する場合は、steamed fish paste という説明に加えて、スライドなどで写真を提示すれば、それが何を指しているのかをより具体的に理解してもらうことができます。



- Can-do!**
- ☐ 発表において、聞き手に理解しやすい表現や、写真・図、統計資料を活用できる。
  - ☐ ジェスチャーなどを用いて、生き生きと発表することができる。

また、おでんの具材の地域性を詳しく述べるならば、以下のような比較資料を用いるとよいでしょう。

Let me say a little more about the regional differences in the ingredients of *oden*. This is a chart showing the popularity of *oden* ingredients in different areas. A hundred people living in the Kanto area and another hundred living in the Kansai area were asked to name their three favorite *oden* ingredients. Their answers are summarized in this chart. The upper four items show similar numbers for both areas, but *hanpen*, *chikuwabu*, and *ganmodoki* are more favored in Kanto. Conversely, *gyusuji* and *atsuage* are more popular in Kansai.



[資料：当社にて作成]



### 3 生き生きと発表するように心がけよう

効果的な発表をするためには、eye contact や body language (ジェスチャーなど) が重要です。原稿を棒読みするのではなく、聞き手に目を向けて、一人一人に話しかけるように、大きな声ではっきりと発表しましょう。また、適宜ジェスチャーを用いて、presentation をより生き生きとしたものにしましょう。背筋を伸ばし、リラックスした姿勢・にこやかな表情で話すことも大切です。

#### Presentation のポイント (まとめ)

- ☐ ① 伝えたい情報は明確か。
- ☐ ② 導入・本論・まとめの展開は適切か。
- ☐ ③ 発表の表現はうまく用いられているか。
- ☐ ④ 文法・語法・単語は正しいか。
- ☐ ⑤ 理解を深める資料はあるか。
- ☐ ⑥ 発声 (音量・速さなど) は適切か。
- ☐ ⑦ eye contact, body language は適宜用いられているか。

### Let's Practice!

Collect materials such as pictures or charts for the manuscript you made in [Let's Practice!] on p. 107. Make a presentation in class.



Useful Expressions



\*各レッスンの主要例文のポイントをおさらいし、実際に活用できるようにしよう。

Part 1

- L.1** ▶ **□**ばくはアキラです。  
(p.10) **□**学校ではダンス部に所属しています。  
**□**踊っているときはとても楽しいです。
- 先月、ばくたちのクラブは学園祭で演技を披露しました。  
**□**ばくたちが踊っていた間、多くの生徒が声援を送ってくれました。
- L.2** ▶ **□**明日の朝、札幌に向けて出発します。  
(p.12) **□**そこでいどこに会う予定です。
- 私たちはある有名な店でラーメンを食べるつもりです。  
**□**午後天気がよければ、藻岩山の山頂に登ろうと思います。
- L.3** ▶ **□**私たちは知り合って10年になる。  
(p.14) **□**ハルカは8歳のときから写真を撮り続けている。  
**□**彼女は写真のコンテストでいくつも賞を取っている。
- L.4** ▶ **□**以前あそこの角に散髪屋さんがあった。  
(p.16) **□**私は兄とよくそこへ行ったものだ。
- そのイヌはとても怖がりだったにちがいない。あるいは、私たちに会えてうれしかったかもしれない。
- L.5** ▶ **□**日本食は外国で人気を得ていると言われている。  
(p.24) **□**日本食のレストランは今や世界のほとんどどこでも見ることができる。

120

PART 1,2 各レッスンの主要例文のポイントを  
書いて覚えるページ。部分英作文の形式になっ  
ているので、文法・表現の復習・総まとめに最  
適です。二次元コードからアクセスできる音声  
で、リスニング活動も可能です

Index

\*Part 1, 2 で学んだ文法・表現の索引です。

【あ・い】

- ～をほんとうにありがとう  
Thank you very much for ~ 94
- ～していただきありがとうございます  
I'm grateful to you for ~ 94
- 言いたいことはわかる  
I see what you mean 66
- いいですよ [かまいません]  
That's OK. / No problem. 96
- 以前は～だった used to ~ 16
- 一番好きな～だ be my favorite ~ 62
- ～だった [した] と言われている  
be said to have+過去分詞 28
- ～だと言われている It is said that ~ 24

【う・お】

- ～してうれしい be glad ~ / be pleased  
[happy] to ~ / be delighted that ~ 94
- …と同じくらい～である as ~ as ... 38
- お願いがあるんだけど  
Can [Will] you do me a favor? 86
- ～だと思ふ I think ~ 98
- ～をお詫言しなければなりません  
I have to apologize to you for ~ 96

【か】

- …に～かどうかを尋ねる ask ... if ~ 54
- かまいません  
Not at all. / It's nothing. 88, 96
- ～しようと考えている  
be thinking of ~ing 74
- ～に感謝する appreciate ~ 94
- …に～のことで感謝する  
be grateful to ... for ~ 94

【き】

- ～であると気づいた、など  
noticed など+that+過去 (時制の一致) 54
- 気にしないでください Don't worry. 96
- ～することに決める decide to ~ 74

【け・こ】

- ～する計画を立てている  
be planning to ~ 74
- 原則として賛成だ I agree in principle 66
- ～に心から感謝いたします  
I really appreciate ~ 94
- 個人的には personally 98

【さ】

- …に～させる  
let [make, have] + ... + 動詞の原形 26
- ～される be 動詞+過去分詞 24
- …を～させる have + ... + 過去分詞 36
- ～に賛成する [賛成である]  
agree with ~ / be in favor of ~ 66

【し】

- ～したい want [would like] to ~ 64
- ～したい気分だ feel like ~ing 30, 64
- ～したかもしれない  
may have + 過去分詞 16
- ～したことがある having + 過去分詞 30
- (今までに) ～したことがある  
have + 過去分詞 14
- ～したにちがいない  
must have + 過去分詞 16
- ～したものだ would ~ 16
- ～していた was [were] ~ing 10
- ～していただけないでしょうか  
I wonder if you could ~ 86
- ～していただけますか  
Could I ask you to ~? 86
- ～していただけるとありがたいのですが  
I would appreciate it if you could ~ 86
- ～していただければ幸いです I would be  
happy [delighted] if you could ~ 72
- ～している am [is, are] ~ing 10
- …が～している [される] のを見る [聞く]  
watch [see, hear] + ... + 分詞 36
- (今はもう) ～してしまった  
have + 過去分詞 14
- あなたは～してはどうか  
I suggest you ~ / Why don't you ~? 76

126

表現別さくいんにより、表現したいフレーズ  
を日本語から調べなおすことが可能です

◆教材配当表：各課 1～2 時間で学習。定期考査や下記以外のページの時間を含めて、年間 70 時間の想定。

課	タイトル (学習事項)	課	タイトル (学習事項)
はじめに一英語表現力を効果的に身につけるには		PART 2 機能シラバス	
PART 1 文法シラバス		1	What's Your Favorite Dish? (好き嫌いを述べる)
1	School Festival (現在・過去／進行形)	2	Uniforms or Casual Clothes? (希望・欲求を述べる)
2	A Trip to Sapporo (未来表現)	3	Project Studies Program (賛成する, 反対する)
3	My Dear Friend (現在完了／進行形)	EL5	インタビューを行ってみよう
4	A Dog in a Barbershop (助動詞)	4	A Guitar Concert (勧誘・招待する, 期待を述べる)
C	リスニング, スピーキングにおける注意点	5	Studying Abroad (計画・意図を述べる)
EL1	パラグラフの「型」を意識しよう	6	What Should I Do? (提案する, 助言する)
5	Japanese Food (受け身)	EL6	サマリー・ライティング
6	Volunteer Activities (不定詞①)	C	politeness (ポライトネス) を考えよう
7	A Stage Actor (不定詞②)	7	A Korean Drama (程度・譲歩を述べる)
8	I Like Singing (動名詞)	8	Going Bird Watching (依頼する・要請する)
EL2	パラグラフの「展開」を工夫しよう (1)	9	Meeting the Deadline (許可を求める)
9	Cycling (分詞)	EL7	図表の内容について伝達してみよう (1)
10	My New Hiking Boots (比較①)	10	Friendship Festival (感謝する, 喜ぶ)
11	The Yangtze River (比較②)	11	Returning a Magazine (謝罪する・謝罪に応じる)
12	My Sister's Job (関係詞①)	12	What Is Your Opinion? (個人的な意見を述べる)
EL3	パラグラフの「展開」を工夫しよう (2)	EL8	図表の内容について伝達してみよう (2)
13	In Kansas City (関係詞②)	PART 3 発展的言語活動 (プレゼンテーションなど)	
14	Dreaming of Space (仮定法①)	1	Making a Manuscript
15	An Android Like You (仮定法②)	2	Making Your Presentation More Effective
16	I Left My Smartphone (時制の一致・話法)	3	Being an Active Listener
EL4	英語でエッセイを書いてみよう	4	Having a Discussion
C	和製英語	5	Speaking in Order
* はじめに：表現力養成の留意事項をまとめた導入ページ。 * C : Column / EL : Express It Logically * PART 2 の 3 課ごとに、Tips for <i>Express Your Opinion</i> , Writing (email などの自由英作文) を掲載 * 前後見返しには「英文手紙・Eメールの書き方」「句読法における留意点」を掲載		6	Thinking Logically and from Different Angles
		7	Sharpening Your Thinking Ability
		Useful Expressions / Index	





**Lesson 4 A Dog in a Barbershop**

There used to be a barbershop at that corner. I would often go there with my brother. There was an old dog there. When we went to the shop, the dog always barked loudly. It must have been very shy, or it may just have been happy to see us.

**Listen and Answer** The writer of the passage is a boy.

(1) \_\_\_\_\_  
(2) He thinks \_\_\_\_\_

**Read Aloud** Work in pairs. Grade each other's reading. (p. 8)

Fluency	Pronunciation	Attitude	Overall

**Tip for Expression**

- 現在と対比して客観的に「はるばる」(used to) で表す (→ 1)
- 過去のことを思い出して主観的に「〜だった」(would) で表す (→ 2)
- 過去の時点について、自分の感情で「〜だった」(must) で表す (→ 3)
- 過去の時点について、自分の感情で「〜だった」(may) で表す (→ 4)

**Think and Express** Look at the pictures and complete the sentences. Use (1) used to, (2) would, (3) must, (4) may.

(1) There \_\_\_\_\_  
(2) I \_\_\_\_\_  
(3) I can't find \_\_\_\_\_  
(4) Sam looks \_\_\_\_\_

## Part 1 左ページ解説 ①

本課の目標、観点別評価のポイント、small talk など

→導入部分からしっかりサポート！

● 本課の目標：以下の用法を習得する。

- ① used to, would の用法「現在と対比させた過去の状態、過去の習慣的行為」
- ② <助動詞+have+過去分詞> の用法「過去に対する推量、過去の非実現的行為」

## ● 観点別評価のポイント

DVD-ROM

## ①知識・技能

- a. 英語で「現在と対比させた過去の状態」「過去の習慣的行為」や「過去に対する推量」「過去の非実現的行為」を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。
- b. 小学校時代の経験などについて、助動詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。
- c. ポイントとなる助動詞の用法のほかに、barbershop, bark, commuter pass, fail, name+O+C などの語彙や表現を習得している。

## ②思考・判断・表現

- a. 適切な場面において used to, would を用いて「現在と対比させた過去の状態」「過去の習慣的行為」の意味を表現する。
- b. 適切な場面において <助動詞+have+過去分詞> を用いて「過去に対する推量」「過去の非実現的行為」の意味を表現する。

- c. 「現在と対比させた過去の状態」「過去為」や「過去に対する推量」「過去の非実現的行為」の表現に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。

## ③主体的に学習に取り組む態度

- a. ②の各項目について、積極的に取り組んでいる。
- b. そのほか、「過去の状態」や「過去の習慣的行為」、「過去の推量」に関連する内容を述べる語彙などを習得しようとしている。

## ◆Small Talk

When I was a child, there used to be a movie theater in my neighborhood. I would often see newly released films there with my family. It was a small theater, and it was always full, even several weeks after a film had opened. I think that was because we had few forms of entertainment other than the movies. There would probably have been a much smaller audience at the theater if we had had other ways to entertain ourselves in those days, such as video games or karaoke.

## ● Listen and Answer

CD I-30~32

## 【質問・解答例】

- (1) What used to be at the corner?  
—A barbershop. / There used to be a barbershop there.
- (2) What does the writer think about the dog's reaction?  
—He thinks it must have been very shy, or may just have been happy to see them.

## 【解説】

- (1) 例文①参照。上記解答の第2例は文として整っており問題はないが、ネイティブによると、A native speaker would more typically just say “A barbershop.” とのことである。
- (2) 例文②参照。本文の to see us は to see them に変えて答える必要がある。reaction[ri(:)ækʃən] は「反応」の意味。< react(反応する) [v.i.]

## 【和訳例】

- (1) 以前は、角のところに何がありましたか。一散髪屋さんです[そこには散髪屋さんがありました]。
- (2) 筆者はそのイヌの反応について、どう考えていますか。—そのイヌはとても怖がりだったにちがいない、あるいは、自分たちに会えてうれしかっただけかもしれない、と考えています。

## &lt;Other questions&gt;

1. Who would the writer often go to the barbershop with?  
—He would often go there with his brother.
2. What was there at the barbershop?  
—There was an old dog.
3. What did the dog always do?  
—It always barked loudly.

## &lt;モデル文の語句解説&gt;

1. **barbershop** [bɑːrbəʃɑːp] 「散髪屋、理髪店」  
= (especially *NAmE*) (*BrE* usually barber's) a place where a barber works. <OALD<sup>10</sup>>  
barber の語源は「beard (あごひげ) をそる人」で、もともとは「理髪外科医 (理髪師のほか外科医・歯科医を兼ねた)」をも意味し、店頭に置いてある看板柱 (barber pole) の赤・白・青は動脈血・包帯・静脈血を表象したものという (『英語語源辞典』)。

- 1-2. **at that corner** 通りにある「角」は「地点」を表すので at または on を伴う。部屋や画面、ページなどの「すみ」は「空間」が意識されるので in を用いて表現する。

Write your address *in the top right-hand corner* of the letter. <OALD<sup>10</sup>>

The TV station's name appears *in the corner* of the screen. <LDOCE<sup>6</sup>>

3. **There was an old dog there.** 文頭の There は形式的な語で発音は弱い。文末の there は「そこに」の意味の副詞で、やや強く発音される。

5. **loudly** [laʊdli] 「大声で、やかましく」  
Ben laughed *loudly*. / She spoke more *loudly* than she intended. <LDOCE<sup>6</sup>>

なお、loud も副詞としてよく用いられる。

Do you have to play that music so *loud*?

You'll have to speak *louder*—I can't hear you.

<以上 OALD<sup>10</sup>>

6. **shy** [ʃaɪ] 「(動物が) 臆病な、警戒して」= (of animals) easily frightened and not willing to come near people: The panda is a *shy* creature. <OALD<sup>10</sup>>

6. **just** 「ただ〜だけ」  
Don't be upset—I was *just* joking. <LDAE<sup>5</sup>>  
We'll *just* have to (= the only thing we can do is) wait and see what happens. <CALD<sup>4</sup>>

6. **happy to see** 「〜に会えてうれしい」不定詞の副詞的用法で「原因」を表す。

## Read Aloud

- ① 「幼いころに兄と理髪店に行ったときの思い出」を語る状況をふまえて音読する。
- ① 冒頭の There は形式語なので弱く発音される。used は若干強く、内容語の barbershop, corner が強い。指示代名詞も比較的強く発音される。
- ② I would は弱く、often go there はいずれも強い。with my は短く弱く、brother は強く発音される。
- ③ 内容語の old dog there が強い〔→左段語句注〕。an old は滑らかに音をつなげる。

## Part 1 左ページ解説 ②

学習事項・演習問題の解答・解説 される。後半は  
→的確な文法解説、音読のヒント、 るようにリズム  
補充問題など充実した内容！ 注意する。

## ● 学習事項の解説

## ① used to / would の用法

- (a) used to は過去の規則的行為や習慣、あるいは過去の状態を表現する。現在との対比 (「現在はそうではない」という点) を客観的に述べるものである。We use *used to + infinitive* to talk about past habits and states which are now finished. <Swan (2016: 87)>

- (b) would は過去の不規則な反復行為 (動作) に言及する場合に用いる。この用法では、過去の「状態」や「定期的な活動」について述べることはない。個人的な回想を表し、often, sometimes などの副詞を伴うことも多い (→例文②)。また、この would は明確に過去を表す文脈でのみ用いられる。

- (c) 上記のように、基本的には used to は「現在との対比」、would は「個人の回想」を述べるものと認識しておけばよい。

- (d) used to の疑問文・否定文は Did S use(d) to ~?, S didn't use(d) to ~. となる。fml では Used S to ~?, S used not to ~. の形式もある。

## ② &lt;助動詞+have+過去分詞&gt; の用法

- (a) 学習者には、まず最初に当該の助動詞の意味を確認しておく。

must: ~にちがいない / may: ~かもしれない  
can't: ~のはずがない / should: ~すべきだ

- (b) 後続する原形の部分が <have+過去分詞> になると、must, may, can't は過去の出来事に関する推量、should は過去に実行されなかったことに対する後悔・非難などを表すこととなる。前者は「〜す



Can-do! ☐ 過去の状態や習慣、過去についての推察などを英語で表現できる。  
☐ 過去の身の回りの状況や思い出などについて、英語で表現できる。

**Think and Express! B**

② Listen to the passage and answer the following questions. (The speaker is Daisy.)


(1) When did the speaker meet Daisy?

(2) What would the speaker often do?

(3) Why does the speaker think she should not have fed Daisy so much fish?

③ Listen to the passage again and write down the key words.

④ Look at the pictures and retell the passage, using the words written above.  
 (You do not have to reproduce the passage exactly.)



⑤ You can refer to the passage on p. 23 if necessary.

**Express Yourself!**

⑥ Write a passage of a few sentences about your elementary school days.  
 When I was... / park / friend / play / read / catch fish(insects) / innocent.

⑦ Work in pairs. ① Student A will read aloud the passage to student B. B can take notes about what A says. ② B will ask questions or make comments about A's passage. (Then switch roles.)

る[である]にちがいない」→「～した[であった]にちがいない」などの意味になり、should は「～すべきだったのに」の意味となる。

(c) should は ought to に変えても同様の意味を示す。また、<should[ought to] have + 過去分詞> が「～したはずだ」と過去の出来事に関する推量を表す場合もある。Have you heard from Maria? She *should have started* her job on Monday. <Quirk et al. (1985: 235)>

(d) <should not have + 過去分詞> は「～すべきではなかったのに」の意味 [Think and Express! B, 第5文にこの表現がある]。類例に <need not have + 過去分詞> 「～する必要はなかったのに」がある。You *needn't have woken* me up. I don't have to go to work today. <Swan (2016: 532.6)>

### Think and Express! A 解答例 ©CD I-33

- (1) There used to be a movie theater there.  
 (2) I would often[sometimes] go fishing with my father.  
 (3) I can't find my commuter pass. I must have left it at home.  
 (4) Sam looks sad. He may have failed the test.

【解説】

- (1) There used to be.... (以前…があった) の形。  
 There *used to be* four cinemas in the town.  
 Now there is only one. <Murphy (2019: 36)>  
 (2) would を用いて表現する。often[sometimes] などの副詞をともに用いてもよい。  
 (3) <must have + 過去分詞> を用いる。commuter [kəm'ju:tər] pass は「(通学・通勤の)定期券」。  
 (4) <may have + 過去分詞> を用いる。ここでの fail[fɛɪl] は他動詞で、「[試験など]に落ちる、失敗する」の意味を表す。

### 【和訳例】

- (1) 以前はそこに映画館がありました。  
 (2) 父とよく[ときどき]釣りに行ったものだ。  
 (3) 定期券が見つからない。家に置いてきたにちがいない。  
 (4) サムは悲しそうだ。試験に落ちたのかもしれない。

### Think and Express! B 解答例 ©CD I-34~36

- ① (1) She met her when the speaker was five.  
 (2) She would often give Daisy some fish[fish to eat]. (3) Because Daisy became very big after some years.  
 ② Ex.) cat, five, Daisy, fish, give, very big, fed  
 ③ スクリプトについては、教科書 p.23 を参照。

### 【解説】

- ① (1) 第1文に when I was five とあるので、I を適切な語句 (the speaker) に変えて解答する。なお、この meet に関し、ネイティブは The verb *meet* can be used for animals, but is anthropomorphic. [問題はないが、擬人的な用法である]とコメントした。  
 (2) 第3文で I would often give some to her と述べられているので、これをヒントに解答する。  
 (3) 第4文の she became very big が、話し手が「そんなにたくさんの餌をやらなければよかった」と考える理由である。<Why does S think ~?> (なぜSは～と考えたか) の構文に注意。  
 cf. Do you know why the speaker fed Daisy so much fish? [一般疑問文]

### 【和訳例】

- ① (1) 話し手はいつデイジーに出会いましたか。  
 一話し手が5歳のときに会った。  
 (2) 話し手はよく何をしましたか。一話し手はデイジーによく魚[食べるための魚]をやった。  
 (3) なぜ話し手はそんなに多くの魚をデイジーに与えるべきではなかったと考えますか。一数年後、デイジーはとても大きくなった[太った]から。

### <Other questions>

1. How did Daisy come to the speaker's home?  
 —The speaker's parents bought her for the speaker.  
 2. What does Daisy love? —She loves fish.  
 3. What became of Daisy after some years?  
 —She became very big.

### <スクリプトの語句解説>

- **bought me a cat** SVOO文型に注意。  
 Let me *buy you a drink*. <LED>
- **named her Daisy** SVOC文型に注意。  
 They *named their son Jacob*.  
 We *named the baby Henry*, after his grandfather (=gave him the same name as his grandfather). <以上 LDAE<sup>5</sup>>
- **Daisy**[deɪzi] 普通名詞としては「ヒナギク」の意味。アメリカの雌ネコの名前として、Bella, Lucy, Lily, Chloe, Sophie などとともに人気がある。ちなみに雄ネコは、Max, Leo, Oliver, Simba, Tigger など。
- **fish** ここでは「食べ物としての魚」なので、不可算名詞となる。I don't like *fish* (=don't like to eat *fish*). <CALD<sup>4</sup>>
- **give some** ここでは some は代名詞で give some *fish* の意味。Nouns can be dropped after *some*, if the meaning is clear. I've got too many strawberries. Would you like *some*? <Swan (2016: 158.6)>
- **Then, after some years** 時間的順序を示す語句により理解しやすい展開となっている。
- **very big** ここでは fat を含意する。一種の婉曲表現 (euphemism) である。
- **fed her so much fish** feed (動物にえさをやる、人に食べ物を食べさせる) は SVOO 文型をとる。Do you *feed your chickens corn*? <CALD<sup>4</sup>>  
 不可算名詞の fish を修飾する much にも注意。
- ③ 時間的順序 (time order)、原因と結果 (cause and effect) による展開を用いてまとめるとよい (→教 pp.32, 44)。Then, after some years, ... という「つなぎ語」を用いるのが効果的である。

### 【和訳例】

私が5歳のとき、両親は私にネコを買ってくれました。私は彼女をデイジーと名付けました。デイジーは魚が大好きで、私はデイジーによく魚をあげていました。そして、何年かすると、デイジーはとても大きくなりました。私はデイジーにそんなに多くの魚をあげなければよかったと思いました。

### <Another Example>

I was given a cute female cat when I was five. We called her Daisy. She loved fish very much. She ate as much fish as I gave her.

Then, after some years, Daisy became very big. We were afraid that she would get sick, so we made her go on a diet. It has been working fairly well. Now she is 13 years old, but she is still in good shape. (72語)

### Express Yourself! 解説 ©CD I-37

小学校時代の経験や思い出について、簡単な文章を書く練習である。

1. When I was an elementary school student (私が小学生のころ) といった書き出しに続けて、自分や身の回りの人・ものの習慣や状態について書く。2文以上書く。
2. 教科書の各活動の解答例、文法・語法解説、表現活動のヒント・補充問題・別解も豊富にご用意！
3. 設問1の下の示した語句や、必要に応じて、以下のような語句のヒントを与えて英文を書かせてもよいだろう。
- visit my grandparents (祖父母を訪ねる)
  - make friends with (～と友達になる)
  - quarrel with (～と口げんかをする)
  - make up with (～と仲直りする)
  - go on a hike (ハイキングに行く)
  - ride a unicycle (一輪車に乗る)
  - set off fireworks (花火をする)
  - build a snowman (雪だるまを作る)
  - swim in the sea (海で泳ぐ)
  - grow morning glories[strawberries] (朝顔[イチゴ]を育てる)
  - bury the time capsule (タイムカプセルを埋める)

### 【和訳例】

小学校時代について、2, 3文の文章を書きなさい。

### 【解答例】

- ① When I was an elementary school student, I used to stay with my grandparents during the summer vacation. I would often go fishing with my grandfather. (26語)  
 ② When I was an elementary school student, there used to be a large park near my school. I would often play baseball or soccer there with my friends. I'm a bit sad it's not there now. (36語)



**Lesson 1 What's Your Favorite Dish?**

Model

Rika: Bob, you prefer Western food to Japanese food, don't you?  
Bob: Actually, no. I prefer Japanese food.  
Rika: Oh, do you? What's your favorite Japanese food?  
Bob: I'm a big fan of sushi. I often go to sushi restaurants with my family.  
Rika: Really? I'm also fond of sushi. Let's go and eat sushi together someday.

Listening Quiz 1. T・F 2. T・F 3. T・F




Expressions for (Likes and Dislikes)

1. I prefer apples to oranges.  
2. Sashimi is my favorite dish.  
3. Mr. Brown is a big fan of omelets.  
4. I'm fond of Korean food.  
5. I don't much care for cheese.  
6. Ann dislikes/hates green peppers.

1. オレンジよりもリンゴが好きです。  
2. 刺身は私が一番好きな食べ物です。  
3. ブラウンさんはオムレツが大好きです。  
4. 私は韓国料理が好きです。  
5. チーズはあまり好きではありません。  
6. アンはグリーン・ペッパーが(大)嫌いです。

Think and Express! A

Look at the pictures and express your likes or dislikes about the foods they show. Each comment should be more than ten words in length.  
Ex.) I like cookies. I bake cookies at home once a month. It's enjoyable.

(1)  okonomiyaki  
(2)  omu-rice  
(3)  dorayaki

● 本課の目標：以下の用法を習得する。

● 好き嫌いを述べる表現

● 観点別評価のポイント

DVD-ROM

① 知識・技能

- a. 英語で「好き」「嫌い」を述べるにはどのような表現を用いるのかを理解している。
- b. 食べ物などに関して、「好き」「嫌い」などの表現を含めてコミュニケーションを図る技能を身につけている。
- c. ポイントとなる機能のほかに, actually, someday, strongly などの語彙や表現を習得している。

② 思考・判断・表現

- a. 適切な場面において prefer ~ to ..., don't care for ~ などを用いて「好き」「嫌い」の意味を表現する。
- b. 「好き」「嫌い」の表現に注意して, 個々の英文の意味を理解し, 適切な思考・判断をもってそれに応答する。

③ 主体的に学習に取り組む態度

- a. ②の各項目について, 積極的に取り組んでいる。
- b. そのほか, 食べ物の名称などに関する語句や表現の知識を習得しようとしている。

◆ Small Talk

I think many of you like to travel. I do too. I

especially like to travel abroad. It's really exciting to see the different lifestyles of people in other countries. However, when I go abroad, there is always one thing I miss. That is Japanese food, such as sushi and *okonomiyaki*. It's getting easier to find Japanese food in other countries these days, but still, it's hard to get food with the same flavors that we can enjoy in Japan.

● Listening Quiz

CD II-76~78

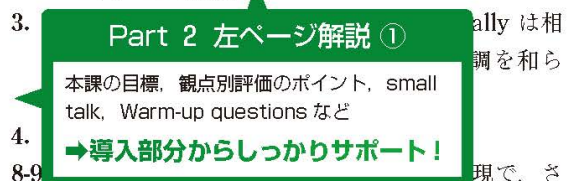
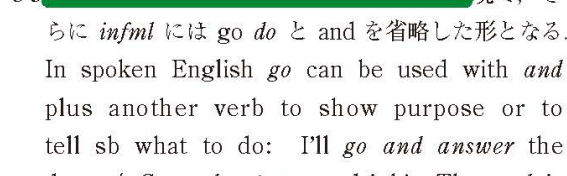
1. Bob prefers Western food to Japanese food. (F)  
2. Bob doesn't like sushi very much. (F)  
3. Rika wants to go and eat sushi with Bob. (T)

※音声CDには本文とListening Quizの音声収録。

● Warm-up questions

1. What is Bob's favorite Japanese food?  
—It is sushi.
2. Who does Bob often go to sushi restaurants with?  
—He often goes there with his family.
3. What does Rika suggest?  
—She suggests that she (should) go and eat sushi with Bob someday.

● モデル文の語句解説

3.  actually は相対的に, 比較を和らげる表現。small talk, Warm-up questions など
4.  go do と and を省略した形となる。In spoken English go can be used with and plus another verb to show purpose or to tell sb what to do: I'll go and answer the door. / Go and get me a drink! The and is sometimes left out, especially in NAmE: Go ask your mom! <OALD<sup>10</sup>>

● Expressions 解説

CD II-79

1. prefer A to B 「B より A を好む」  
prefer は「[人・物・事]を好む」という意味で, prefer A to B は, 2者について like A better than B の意味を表す。動作・行動について言う場合は, 動名詞を用いる場合と不定詞を用いる場合がある。I prefer walking to driving.  
I prefer to walk rather than (to) drive.  
なお prefer[prɪfəɪr] のアクセントに注意。活用は preferred, preferring となる。

2. ~ is my favorite ... 「~は私が大好きな...だ」  
favorite[fəvərɪt] は「最も好きな, 一番気に入っている [得意な] (=best liked or most enjoyed <CALD<sup>4</sup>>)」の意味。最上級の意味が含まれているので普通 ×most ~とはならない。なお, BrE では favourite とつづる。
3. be a big fan of ~ 「~の大ファンだ, ~が大好きだ」  
fan[fæn] は「(有名人・チーム・娯楽などの) ファン」の意味だが, このように食べ物について用いてもよい。I'm a big fan of Italian food. <OCD<sup>2</sup>> infml な表現である。
4. be fond of ~ 「~が大好きだ」  
特に長期にわたって好きであることが含意される。=to like something, especially something you have liked for a long time. <LDOCE<sup>6</sup>> fond は very, quite, extremely などの修飾を受ける。She was very fond of horses. <CALD<sup>4</sup>> Joe's quite fond of her, isn't he? <LED>
5. care for ~ 「[[否定文・疑問文で]~が好きだ」  
I don't care for ~, Do you care for ~? のような形で用いる。not like よりも直接的な表現でないで, 人から勧められたものを断るときなどに用いる (I'm sorry, but I don't care for raw fish. など)。さらに例文のように much を入れることばを和らげることもある (much の位置は care の前後いずれも可能)。なお, Would you care for another cup of tea? (お茶をもう1杯いかがですか)などは, ていねいな提案の場面で用いられる。
6. dislike[hate] 「~が嫌いだ」  
not like, dislike, hate の順に嫌いな気持ちが強くなる。嫌悪を表す直截な表現なので, 特に「人」に対しては, なるべく用いない (not like などで代用する) のがよい。例文のような客観的な描写や, I hate snakes. などの一般的な論述で使用するのはいよい。なお hate は to do, doing のいずれも目的語にとるが, dislike は doing が後続するのが普通である。

● Think and Express! A 解説

DVD-ROM

【解答例】

CD II-80

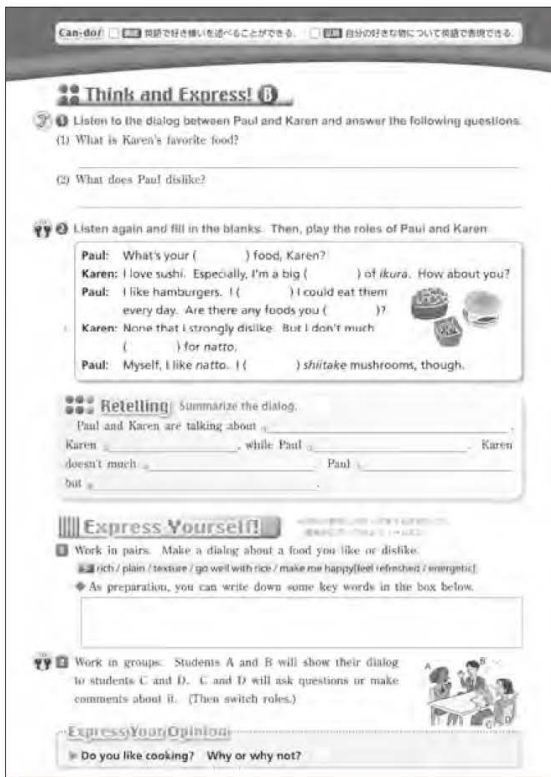
- (1) Okonomiyaki is my favorite Japanese food. I sometimes make it myself at home.
- (2) I'm fond of omu-rice. These days I prefer it with demi-glace sauce rather than ketchup.
- (3) I'm not a big fan of Japanese sweets. I don't much care for the red bean paste in dorayaki.

【展開事例】

1. 設問に取り組みさせる。適宜語彙のヒントを与える。
- ◆ Now, let's work on Think and Express! A. Look at the pictures and express your likes or dislikes about them. Each comment should be more than ten words in length. As in the example, you can use a few sentences if necessary.
2. それぞれの答えを発表させる。
- ◆ [Name], could you tell us your comment for picture (1)? / [Name], write your comment about picture (2) on the board.
3. 適宜, 写真の食べ物に関し, ペアで対話を行わせたり, 写真以外の食べ物について対話させてもよい。
- ※ なお, 初対面, あるいはそれに近い人との会話の場合, 相手が Do you like O? と尋ねてきたら, 概略を発展
- Part 2 左ページ解説 ②
- 学習事項・演習問題の解答・解説・和訳例
- 的確な機能表現・語句の解説; 活動の展開事例をご用意!
- 否定的な it. / To と, こと t like it. では, かなりぶっきらぼうな印象を与えてしまう)。

- ・ likes or dislikes 「好きか嫌いか」ここでは like, dislike が名詞で使われている。likes and dislikes (好き嫌い) という句でよく用いられる。A good hotel manager should know his regular guests' likes and dislikes. <LDOCE<sup>6</sup>>
- ・ in length [lɛŋkθ] 「長さで」  
The boat is ten metres in length. <CALD<sup>4</sup>> cf. She talked at length about her work in hospitals. (長々と, 詳細に) <OID<sup>2</sup>>
- ・ once a month 「1か月に1度」 a は per (〜につき) の意味。You use once with 'a' and words like 'day', 'week', and 'month' to indicate that something happens regularly, one time in each day, week, or month. <COBUILD<sup>9</sup>>
- (2) omu-rice 「オムライス」 omelet[omelette] と rice でできた和製の料理。本教科書での表記に関しては, 「オム」は日本語と捉えて斜体字で記し, 「ライス」は英語そのままとして, 両者をハイフンでつないだ。
- 【和訳例】  
写真を見て, それらが示す食べ物について好き嫌いを表現しなさい。それぞれのコメントは10語を超える長さとなるようにしなさい。  
例) クッキーが好きです。月に1度, 家でクッキーを焼きます。それは楽しいです。





## Think and Express! ⑧ 解答例 DVD-ROM

©CD II-81~83

① (1) Her favorite food is sushi.

(2) He dislikes *shiitake* mushrooms.

② favorite, fan, wish, dislike, care, hate

## 【解説】

(1) 2行めの I love sushi. より, Her favorite food is ~ の形で答える。[It is [It's] sushi. も可.]

(2) Paul の嫌いなものは最後に述べられている。7行めの *shiitake* mushrooms がそれに当たる。

## &lt;Other questions&gt;

1. What does Karen especially like?

—She (especially) likes *ikura*.

2. What is Paul's favorite food?

—His favorite food is hamburgers.

〔注：hamburgers は集合的に述べるため複数形となる。be 動詞は is で可。〕

3. Are there any foods Karen strongly dislikes?

—No there aren't.

4. What is a food Karen doesn't much care for?

—It is *natto*.5. Does Paul like *natto*? —Yes, he does.

【活動の展開事例】→本書 p.29 などを参照〔以下同〕。

## &lt;英文の語句解説&gt;

2. *ikura* ここでは日本語として斜体字で表記した。ロシア語の *ikra* (魚卵)が語源とされる。

3. I wish I could ~ 「～することができればなあ」 could は can の仮定法。I wish that I could afford a new car. &lt;LED&gt;

5. None that I strongly dislike. 「ひどく嫌いなものはありません」 = There is none that I strongly dislike. none は no one が短縮された形で、先行する名詞を受ける代名詞。この場合は no food の意味となる。

7. myself 「私自身は」 I don't like a heavy meal at lunchtime myself. &lt;CALD&gt; と同様の強意用法で、文頭で用いられたもの。infml な用法である。

7. *shiitake* mushrooms 「しいたけ」 *soba* noodles などと同様、mushroom の種類を表す語として *shiitake* を用いている。<OCD> の mushroom の項には、oyster ~ (ヒラタケ)、portobello ~ とならんで *shiitake* ~ が挙げられている。また、mushroom と共起する形容詞には edible, poisonous, wild, fresh, dried, stuffed などがある。

## Retelling 解説

©CD II-84

ここでは対話の内容を要約するリテリングの活動を行う。生徒には「自分が聞いた内容を第三者に伝えるように、うまくまとめてみよう」などと指示を出すのがよい。補足事項、詳細説明などの些末な部分を割愛することが肝要である(本課では I wish I could eat them every day. など)。[本文56語→下例32語]

## 【要約文例】

Paul and Karen are talking about ①the food they like or dislike. Karen ②loves sushi, while Paul ③likes hamburgers. Karen doesn't much ④care for *natto*. Paul ⑤likes *natto* but ⑥hates *shiitake* mushrooms.

【活動の展開事例】→本書 p.30 などを参照〔以下同〕。

## Express Yourself! 解説

生徒独自の対話を作らせ、発表させる。「好きな食べ物、嫌いな食べ物」がテーマなので、pp. 62, 63 の各対話文を参考にさせるとよい。

注：Express Yourself! に関する基本的な展開事例は教科書に示した通りで、1 ペアワーク：必要に応じて key words を準備したうえで、対話練習を行う 2 グループワーク：1組のペアが対話を発表し、もう1組のペアとともに討議を行う、というものである。以下の各課でさまざまな展開方法を記載するが、これは各課固有の指導法を示すものではなく、他のレッスンに転用してもよい。指導法を工夫して、生

徒の言語活動を活性化させることが肝要である(次項の Express Your Opinion も同様)。

◆Work in pairs. Let's make an original dialog similar to the ones on pp. 62 and 63. As preparation, you can write down some key words in the box on p. 63. Now, let's practice.

◆Work in groups of four students[two pairs]. One pair will present their dialog to the other pair. And then, make a discussion about the dialog as written in the textbook.

## Express Your Opinion 解説

ここでは、初歩的なものとして、簡単な対話練習を行う展開事例を示す。英検準2級の二次試験の面接にも通じる活動である。

◆Work in pairs. First, one student asks if the other likes cooking or not. Then, depending on the answer, ask why or why not. After that, switch roles.

◆You can respond to the reason your partner has told you. For example, you agree or not with the reason, and tell your opinion.

※ 以下の解答例について、極めて簡単に口頭で回答する例については、①の下線部を参照。ただし、

## Part 2 右ページ解説

各活動の解答例、文法・語法解説、内容把握の補充問題、活動の展開事例

→充実した語句解説、補充問題、展開事例、解答例でご授業にお役立ていただけます！

## 【肯定的な例】

① I like cooking because it's enjoyable. I'm very glad when a dish I like turns out as I expected. Also, I feel happy when my family are pleased with what I have cooked. (33語)

② I like cooking because it's enjoyable. I'm very glad when a dish I like turns out as I expected. Such cases are still rare, so I would like to improve my cooking skills. Also, I feel happy when my family are pleased with what I have cooked. The comments from my family encourage me to become a better cook. (59語)

## 【否定的な例】

① I don't like cooking very much because it is troublesome. It takes a lot of time, including

shopping and washing the dishes. And it does not come out as good as I expected after all. (35語)

② I don't like cooking very much because it is troublesome. First, you have to buy all the ingredients you need. Then you need to cut a lot of vegetables, meat, and so on, which takes a lot of time. Besides, it does not come out as good as I expected after all. And also, there is cleaning up to do after that. (62語)

## 英文の和訳例

DVD-ROM

## Think and Express! ⑧

① ポールとカレンの対話を聞いて、次の質問に答えなさい。

(1) カレンの好きな食べ物は何ですか。

—彼女の好きな食べ物はお寿司です。

(2) ポールは何が嫌いですか。

—彼はしいたけが嫌いです。

② もう一度聞いて、空所を埋めなさい。それから、ポールとカレンの役を演じなさい。

P:好きな食べ物は何、カレン?

K:お寿司が大好き。特にイクラが大好物よ。あなたは?

P:ハンバーガーが好きだな。毎日食べられたらいいのと思うよ。何か苦手な食べ物はある?

K:ひどく嫌いなものはないよ。ただ、納豆はあまり好きじゃないね。

P:よく自身は、納豆は好きだよ。でも、しいたけは嫌いだな。

## Retelling

ポールとカレンが、好きな食べ物、嫌いな食べ物について話している。カレンはお寿司が大好きで、ポールはハンバーガーが好きだ。カレンは納豆があまり好きではない。ポールは納豆は好きだが、しいたけは嫌いだ。

## Express Yourself!

1 ペアで活動しなさい。好きな食べ物、嫌いな食べ物について、対話を作りなさい。

◆準備として、下の欄にキーワードを書いてもよい。

2 グループで活動しなさい。生徒 A, B が生徒 C, D に対話を見せましょう。生徒 C, D は、それについて質問をするか、意見を述べましょう。(その後役割を交代しなさい。)

## Express Your Opinion

料理は好きですか。それはなぜですか。



# Lesson 12

## My Sister's Job

CD II-20

① My sister Sato, **who** lives in Chiba, is an engineer. ② She works for a company **that** makes industrial robots. ③ This is a picture of the office **in which** she is now working. ④ She sometimes tells me about her job, **which** makes me want to have a job of my own someday.

① 姉のサトは千葉に住んでいますが、技術者です。② 姉は産業用ロボットを作る会社に勤めています。③ これは姉が今働いている職場の写真です。④ 姉はときどき仕事について話してくれますが、そのことは私に、いつか自分自身の仕事をもちたい気持ちにさせてくれます。

- (1) What does the writer's sister do? 筆者のお姉さんの仕事は何ですか。  
(2) How does the writer feel when he hears his sister talk about her job? お姉さんが仕事について話をすることを聞くと、筆者はどう感じますか。

CD II-21, 22

### Listen and Answer

\* The writer of the passage is a boy.  
\* 文章の筆者は男子です。

- (1) She is **an engineer**.  
彼女は技術者です。  
(2) He **wants to have a job of his own someday**.  
いつか自分も仕事をもちたいと思います。

### Read Aloud

Work in pairs. Grade each other's reading. (⇒ p. 8)  
ペアで活動しなさい。互いの読みを評価しなさい。

① Fluency 流ちょうさ	② Pronunciation 発音	③ Attitude 態度	Total 合計

#### Tips for Expression

1. 「～する人/物」などは、関係代名詞 (who, which, that, etc.) を用いて表す (→ ②).  
2. 関係代名詞が前置詞の目的語になる場合に注意 (→ ③).  
cf. She is now working **in** the office.  
3. 関係代名詞が補足の説明を導く場合がある (→ ① ④). この場合、関係詞の前にコンマ (,) を置く (主に書きことばで用いる). ④ は、関係代名詞が前の節の内容を受けている。

CD II-23

### Think and Express! A

Look at the pictures and complete the sentences. Use "who," "which," or "that."  
絵を見て文を完成させなさい。who, which, または that を用いなさい。



- (1) The police officer **who gave me directions** was friendly. [He gave me directions.]  
私に道順を教えてくれた警官は親切だった。  
(2) Sue bought the jacket **which she had been saving money for**. [She had been saving money for it.]  
スーはそのために貯金していたジャケットを買った。  
(3) This is the only bus **that goes to Arashiyama**. [It goes to Arashiyama.]  
これは嵐山に行く唯一のバスです。  
(4) Ray tried to **open the door, which was impossible**. [However, that was impossible.]  
レイはそのドアを開けようとしたが、無理だった。

Can-do!

CD トラック番号、英文の和訳、解答例を朱文字で記載しています。見られる。  
話題 将来の仕事や家族のことについて、英語で表現できる。

### Think and Express! B

スクリプトについては、p.47を参照。



- ① Listen to the passage and answer the following questions. \* The speaker is a girl.  
文章を聞いて、次の質問に答えなさい。 \* 話し手は女子です。

CD II-24, 25

- (1) What is the speaker's dream?  
話し手の夢は何ですか。  
(It is) to become/(She dreams of becoming) a novelist. 小説家になることです。  
(2) Which novelist does the speaker say she respects?  
話し手はどの小説家を尊敬していると述べていますか。  
(She respects) Akutagawa Ryunosuke. (彼女は) 芥川龍之介(を尊敬しています)。  
(3) Besides reading, what does the speaker do to prepare for her career?  
読書以外に、話し手は自分のキャリアに備えるために何をしていますか。  
She watches movies and dramas. 彼女は映画やドラマを見ています。

CD II-26

- ② Listen to the passage again and write down the key words. もう一度文章を聞いて、キーワードを書きなさい。

Ex.) novelist, Akutagawa, respect, touch, hearts, writing career, movies and dramas



- ③ Look at the pictures and retell the passage, using the words written above.

絵を見て、上で書いた単語を使いながら、文章をリテリングしなさい。  
(You do not have to reproduce the passage exactly.) (文を正確に再現する必要はありません。)



You can refer to the passage on p. 47 if necessary.  
必要ならば、p.47 の文章を参照してもよい。

### Express Yourself!

CD II-27

- ① Write a passage of two or more paragraphs to introduce a family member, a friend, or an acquaintance.  
家族や友人、知人について、2 パラグラフ以上の文章を書きなさい。

5 para. 1 でその人を紹介し、para. 2 (以降) で具体的なエピソードなどを述べてみよう。

I have a sister **who** studies jazz in New York City. She goes to a college that is famous for its jazz program. She sometimes feels homesick, but generally she seems to enjoy life in New York.  
You can watch some videos of her performances on the Internet. I think she is still perfecting her style, but she has a fairly good reputation even now. I hope you will encourage her by watching her videos.

(75語)

読み直し



- ② Work in pairs. Read the passage aloud and talk about it with each other.

ペアで活動しなさい。文章を声に出して読み、それについて話し合いなさい。



# Lesson 5

CD III-24

PART 2 Teacher's Book 内容見本

## Studying Abroad



CD III-25

F 計画・意図を述べる

### Model

<dialog>

**Meg:** I hear you're **planning to go** abroad this summer.

**Yuta:** Yes, I'm **going to study** English in a foreign country for a month or so.

**Meg:** Which country are you **thinking of going to**?

**Yuta:** I haven't made a final decision, but I've **decided to go** to either Australia or Canada.

**Meg:** I'm sure you'll find either country very nice.

メグ：今年の夏に海外に行く計画を立てているそうね。

ユウタ：ああ、1か月ほど外国に行って英語を勉強するつもりだよ。

メグ：どこの国に行こうと考えているの？

ユウタ：最終的な決定はしていないけれど、オーストラリアかカナダのいずれかに行くことに決めているんだ。

メグ：きっとどちらの国もとてもいいところだと思うでしょう。



### Listening Quiz

1. (T)・F 2. T・(F) 3. T・(F)

CD III-26, 27

CD III-28

### [Expressions]

for <Plans and Intentions>

- I'm **leaving** for Beijing tonight.
- We're **going to** attend the meeting.
- I'm **thinking of** studying art in college.
- Yui **is planning to** take a night train.
- I **meant to** buy eggs, but I forgot.
- Sam **intends to** be an architect.
- I've **decided to** take the exam.

- 今晚北京に向けて出発します。
- 私たちはその会合に出席するつもりです。
- 大学では美術を勉強しようと考えています。
- ユイは夜行列車に乗る計画を立てている。
- たまごを買うつもりだったが、忘れた。
- サムは建築家になるつもりです。
- その試験を受けることに決めました。

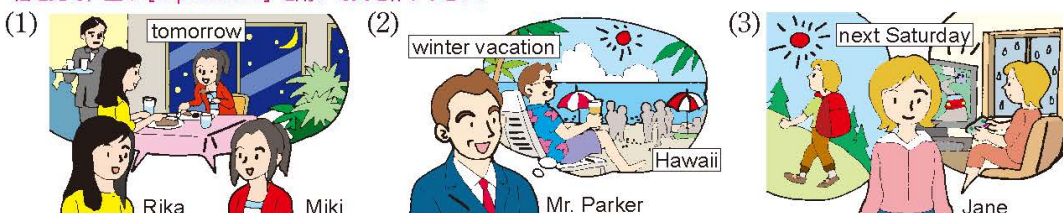
**Note** 1 の <be ~ing> は近い未来の予定や取り決めを、2 の <be going to ~> は前から考えている予定・計画を表す。5 の mean は 6 の intend よりも意味が弱く、くだけた表現。

CD III-29

### Think and Express! A

Look at the pictures and make sentences using the [Expressions] above.

絵を見て、上の [Expressions] を用いて文を作りなさい。



- Rika and Miki **are going to have dinner together tomorrow**[are going out to a restaurant tomorrow].  
リカとミキは明日いっしょに夕食をとる[外出してレストランに行く]つもりです。
- Mr. Parker **is thinking of going to Hawaii for the winter vacation**[is planning to spend his winter vacation on sunbathing in Hawaii].  
パーカー氏は冬休みにハワイに行こうと考えている[ハワイで日光浴をして過ごす計画を立てている]。
- Jane **is planning to go hiking**[is going on a picnic] next Saturday, but if it rains, she **will play video games at home**[she will stay home].  
ジェーンは今度の土曜日にハイキングに行く計画を立てているが、もし雨が降ったら、家でテレビゲームをしようと思っている[ピクニックに行くつもりだが、もし雨が降ったら、家にいるつもりだ]。

PART 2 では片側のページに、スクリプトと英語の指導手順案を掲載

### A Sample Teaching Procedure for an ALT

#### ① Roll call

◆ Good morning[afternoon], everyone. Is anybody absent today? ... Well, let's begin.

#### ② Warm-up

1. Tell students about studying abroad.

One of my friends, an English teacher, is planning to go abroad to study. To teach English, English teachers need to keep studying English. There are many books and other materials we can use to study English in Japan, but staying in an English-speaking country might be the most effective and exciting way to strengthen our English. Some of you may be thinking of studying abroad during your college years, and some of you may already have been abroad for your elementary or junior high school education. Such experiences are precious for all of us.

2. Ask a couple of students about whether they want to study abroad or not.

◆ T: Now I would like to ask some of you about whether you want to study abroad someday or not. [Name], do you want to study abroad someday?

S: Yes. I want to study music in Italy in the future.

T: Oh, that's good. Thank you. And do you want to study abroad someday, [Name]? ...

#### ③ Model <dialog>

1. Have students listen to the dialog a few times.

◆ Now please listen to the dialog twice without looking at the textbook.

2. Have students answer the listening quizzes.

◆ Let's work on *Listening Quiz*. Listen to the three sentences about the dialog, and show me whether each sentence is true or false. Hold up your textbooks. If you think the answer is true, show me the front cover of your textbook. If you think it is false, show me the back cover. All right?

#### Listening Quiz

1. Yuta is planning to study English abroad this summer. (T)

2. Yuta has stayed in a foreign country for about a month. (F)

3. Yuta would rather go to Australia than Canada. (F)

3. Have students practice the dialog.

◆ Now open your textbooks to p. 74. Listen to the dialog and repeat each sentence. (Students repeat.) OK, make pairs and practice the dialog with your partner.

4. Explain words and phrases to students.

◆ Now, let's look at some of the useful expressions. Yuta says "for a month or so." This means "for about a month" or "for one month or two." Yuta also says "I haven't made a final decision." This means he is still thinking and hasn't decided yet.

#### ④ Expressions for <Plans and Intentions>

1. Have students listen to and repeat each expression.

◆ Let's go on to *Expressions*. Repeat after me. (Read each sentence and make students repeat it.)

◆ [Name], read sentence 1.

2. Call on some of the students and have them say the sentences.

◆ Cover the left side (English side) of *Expressions* with something. You should read the Japanese sentences and then translate them into English. Let's practice.

◆ [Name], say sentence 1 without looking at it in the textbook.

3. Explain words and phrases.

◆ Let's look at the verb "take" in *Expressions*. Look at No.4 "take a night train." You can take a bus, a taxi, or a plane. You can also say "catch a train, a bus, and so on." Look at No.7 "take the exam." You can also say "have the exam" or "sit for the exam." However, don't say "receive the exam," which is a direct translation from the Japanese phrase.

#### ⑤ Think and Express! A

1. Have students answer the questions.

Note: Explain the situation described in each picture if necessary.

◆ Look at the pictures and complete the sentences. Use the expressions you have learned on p. 74. In picture (1), the two girls are talking about having dinner tomorrow. In picture (2), Mr. Parker will go somewhere for the winter vacation. In picture (3), Jane has a plan to do some outdoor



BIG DIPPER II TEACHER’S MANUAL付属 教授用データ一覧

※教授用データの一部は、弊社HPからダウンロードによってご用意する場合もあります。

BIG DIPPER II 教授用データ・形式・概要 一覧		
収録データ	形式	概要
教科書紙面PDF	PDF	教科書の紙面PDFデータ
Teacher’s Book紙面PDF	PDF	Teacher’s Bookの紙面PDFデータ
プレゼンテーション用スライド	Power Point	本課の例文などの提示のほか、音声も流せる授業用スライド Googleスライド形式もダウンロードでご用意！
本文データ	Word	教科書紙面のWordデータ
解答（例）	Word	教科書の各演習問題や活動の解答（例）
音声スクリプト	Word	教科書掲載のリスニング問題の音声スクリプト
本文和訳例	Word	教科書掲載の例文の和訳例
提出用シート	Word	教科書の各演習問題や活動の解答を書き込めるシート
PART 1ハンドアウト	Word	PART 1の文法事項をまとめた補助プリント
問題演習シート	Word	Think and Express! A を空所補充形式にしたシート
表現活動用提出シート	Word	教科書の各演習問題や活動について適宜ヒントを掲載した提出用解答シート
ディクテーションシート	Word	教科書のリスニング・スクリプトを利用したディクテーション問題のシート
定期考査用リスニング問題	Word	定期考査用に利用できるリスニング問題のスクリプト
評価問題	Word	定期考査用に利用できる演習問題
補充問題	Word	各課で学習した内容を確認できる問題
暗唱例文集	Word	教科書に出てくる表現の定着を図る暗唱例文集
単語学習シート	Word	本課掲載語句をまとめたリスト
ワークブック（準拠教材）	Word	準拠教材『ワークブック』のデータ
観点別評価など	Word Excel	観点別評価基準例、教科書の特色、年間指導計画案を収録
Can-Doリスト	Excel	各課における学習到達目標（表現／機能、話題）
指導手順案	Word	教科書本課の指導手順案
ループリック評価表	Excel	教科書掲載のループリック評価表
参考書・文法テキスト対応表	Excel	当社発行の文法参考書との文法事項についての対応表
Googleフォーム／ Microsoft Forms	Excel	オンラインで管理可能なフォーム形式の小テスト ※弊社HPからのダウンロードによってご利用方法などをご案内いたします。

教授資料・付属データ

● Googleスライド／Googleフォーム・Microsoft Forms（小テスト）の画面の一例

Lesson 4A Dog in a Barbershop

① There **used to be** a barbershop at that corner.  
以前あそこの角に散髪屋さんがあった。

② I **would often** go there with my brother.  
私は兄とよくそこへ行ったものだ。

③ There **was** an old dog there.  
そこには1匹の老犬がいた。

Lesson 4A Dog in a Barbershop

④ When we went to the shop, the dog always barked loudly.  
私たちが店に行くと、そのイヌはいつも大きな声でほえた。

⑤ It **must have been** very shy, or it **may just have been** happy to see us.  
それはとても怖がりだったにちがいない、あるいは、私たちに会えてうれしかっただけかもしれない。

▲Googleスライド

そのイヌはとても怖がりだったにちがいない。  
The dog ( ) very shy.

☐ must

☐ must have

☐ must have been

☐ had to be

父とときどき釣りに行ったものだ。  
I ( ) go fishing with my father.

☐ sometimes

☐ would sometimes

☐ often

☐ would often

▲Googleフォーム

7. そのイヌはとても怖がりだったにちがいない。  
The dog ( ) very shy. (1 点)

☐ must

☐ must have

☐ must have been

☐ had to be

8. 父とときどき釣りに行ったものだ。  
I ( ) go fishing with my father. (1 点)

☐ sometimes

☐ would sometimes

☐ often

☐ would often

▲Microsoft Forms

付属DVD-ROM：教科書を有効に活用するための豊富なデータを収録



データサンプルはこちら！

付属DVD-ROM データ紙面の一例

① 教科書紙面PDFデータ

Lesson 4A Dog in a Barbershop

① There **used to be** a barbershop at that corner. ② I **would often** go there with my brother. ③ There was an old dog there. ④ When we went to the shop, the dog always barked loudly. ⑤ It **must have been** very shy, or it **may just have been** happy to see us.

⑥ 以前あそこの角に散髪屋さんがあった。⑦ 私は兄とよくそこへ行ったものだ。⑧ そこには1匹の老犬がいた。⑨ 私たちが店に行くと、そのイヌはいつも大きな声でほえた。⑩ それはとても怖がりだったにちがいない、あるいは、私たちに会えてうれしかっただけかもしれない。

7 Listen and Answer \*The writer of the passage is a boy.

(1) \_\_\_\_\_

(2) He thinks \_\_\_\_\_

8 Read Aloud

Work in pairs. Grade each other's reading. (→ p. 8)

① Fluency	② Pronunciation	③ Attitude	Total

Type for Expression

1. 現在と対比して虚構的に「以前は～だった」という場合は (used to ～) で表す (→ ③)。また、過去のことを思い起こして主観的に「～したものだ」という場合は (would ～) で表す (→ ②)。

2. 過去の事実について、現在の時態で「～だった(した)にちがいない(～だった(した)かも知れない)」と推量する場合は (must/may have + 過去分詞) の形を用いる (→ ⑤)。

Think and Express! A

Look at the pictures and complete the sentences. Use (1) used to, (2) would, (3) must, (4) may.

(1) There \_\_\_\_\_ there.

(2) I \_\_\_\_\_ with my father.

(3) I can't find my commuter pass. I \_\_\_\_\_.

(4) Sam looks sad. He \_\_\_\_\_.

③ Teacher's Book紙面PDFデータ

Lesson 4A Dog in a Barbershop

① There **used to be** a barbershop at that corner. ② I **would often** go there with my brother. ③ There was an old dog there. ④ When we went to the shop, the dog always barked loudly. ⑤ It **must have been** very shy, or it **may just have been** happy to see us.

⑥ 以前あそこの角に散髪屋さんがあった。⑦ 私は兄とよくそこへ行ったものだ。⑧ そこには1匹の老犬がいた。⑨ 私たちが店に行くと、そのイヌはいつも大きな声でほえた。⑩ それはとても怖がりだったにちがいない、あるいは、私たちに会えてうれしかっただけかもしれない。

7 Listen and Answer \*The writer of the passage is a boy.

(1) A barbershop / There used to be a barbershop there.

(2) He thinks it must have been very shy, or may just have been happy to see them.

8 Read Aloud

Work in pairs. Grade each other's reading. (→ p. 8)

① Fluency	② Pronunciation	③ Attitude	Total

Type for Expression

1. 現在と対比して虚構的に「以前は～だった」という場合は (used to ～) で表す (→ ③)。また、過去のことを思い起こして主観的に「～したものだ」という場合は (would ～) で表す (→ ②)。

2. 過去の事実について、現在の時態で「～だった(した)にちがいない(～だった(した)かも知れない)」と推量する場合は (must/may have + 過去分詞) の形を用いる (→ ⑤)。

Think and Express! B

Look at the pictures and complete the sentences. Use (1) used to, (2) would, (3) must, (4) may.

(1) There **used to be** a movie theater there.

(2) I **would often** go fishing with my father.

(3) I can't find my commuter pass. I **must have left** it at home.

(4) Sam looks sad. He **may have** killed the cat.

② プレゼンテーション用スライド

Lesson 4A Dog in a Barbershop

① There **used to be** a barbershop at that corner.  
以前あそこの角に散髪屋さんがあった。

② I **would often** go there with my brother.  
私は兄とよくそこへ行ったものだ。

③ There was an old dog there.  
そこには1匹の老犬がいた。

Lesson 4A Dog in a Barbershop

Think and Express! B

(1) There **used to be** a movie theater there.

教授資料・付属データ

①教科書紙面PDFデータ

②プレゼンテーション用スライド

対面・リモートでの授業にお役立ていただけます。  
プレゼンテーション用スライドでは音声も利用できます。

※PowerPointに加えてGoogleスライド形式でもご用意！

③Teacher’s Book紙面PDFデータ

教授資料に付属するTeacher’s BookのPDFデータです（英文の和訳・解答例・スクリプト・PART 2 指導手順案を掲載）。ご授業の準備にお役立ていただけます。



④ 本文

(p. 16)

**Lesson 4 A Dog in a Barbershop**

☞There used to be a barbershop at that corner. ☞I would often go there with my brother. ☞There was an old dog there. ☞When we went to the shop, the dog always barked loudly. ☞It must have been very shy, or it may just have been happy to see us.

① 以前あそこの角に散髪屋さんがあった。②私は兄とよくそこへ行ったものだ。③そこには1匹の老犬がいた。④ 私たちが店に行くと、そのイヌはいつも大きな声で吠えた。⑤ それはとても怖がりだったにちがいない。あるいは、私たちに会えてうれしかっただけかもしれない。





Listen and Answer \*The writer of the passage is a boy.  
(1) \_\_\_\_\_  
(2) He thinks \_\_\_\_\_.

Read Aloud  
Work in pairs. Grade each other's reading (→ p. 8)

① Fluency	② Pronunciation	③ Attitude	Total

Tips for Expression  
1. 現在と対比して客観的に「以前は～だった」という場合は〈used to ～〉で表す (→ ①)。また、過去のことを思い起こして主観的に「～したものだ」という場合は〈would ～〉で表す (→ ②)。  
2. 過去のことについて、現在の時点で「～だった[した]にちがいない[～だった[した]かもしれない]」と推量する場合は〈must/may have+過去分詞〉の形を用いる (→ ⑤)。

Think and Express! A  
Look at the pictures and complete the sentences. Use (1) used to, (2) would, (3) must, (4) may.

(1) There \_\_\_\_\_ there.  
(2) I \_\_\_\_\_ with my father.  
(3) I can't find my commuter pass. I \_\_\_\_\_.

⑤ 解答・解説

**Lesson 4 A Dog in a Barbershop** [解答・解説] (pp. 16-17)

■ Listen and Answer 解答例  
(1) A barbershop/ There used to be a barbershop there  
(2) it must have been very shy, or may just have been happy to see them.

■ Listen and Answer 解説  
(1) 例文①参照。  
(2) 例文②参照。本文の to see us は to see them に変えて答える必要がある。reaction は「反応」の意味。<react (反応する)>

1. **barbershop** 「散髪屋、理髪店」  
1-2. **at that corner** 通りにある「角」は「地点」を表すので at または on を伴う。部屋や画面、ページなどの「すみ」は「空間」が意識されるので in を用いて表現する。  
3. **There was an old dog there.** 文頭の There は形式的な語で発音は弱い。文末の there は「そこに」の意味の副詞で、やや強く発音される。  
5. **loudly** 「大声で、やかましく」  
6. **shy** 「(動物が) 臆病な、警戒して」  
6. **just** 「ただ～だけ」  
6. **happy to see** 「～に会えてうれしい」 不定詞の副詞的用法で「原因」を表す。

■ Think and Express! A 解答例  
(1) used to be a movie theater  
(2) would often[sometimes] go fishing  
(3) must have left it at home  
(4) may have failed the test.

■ Think and Express! A 解説  
(1) There used to be... (以前...があった) の形。  
(2) would を用いて表現する。often などの副詞をともに用いてもよい。  
(3) <must have+過去分詞> を用いる。commuter pass は「(通学・通勤の) 定期券」。  
(4) <may have+ 過去分詞> を用いる。ここでの fail は他動詞で、「(試験など) に落ちる、失敗する」の意味を表す。

⑦ 提出用シート（解答なし）

**Lesson 4 A Dog in a Barbershop** [提出用シート] (pp. 16-17)

Listen and Answer  
(1) \_\_\_\_\_  
(2) He thinks \_\_\_\_\_

Think and Express! A  
(1) There \_\_\_\_\_ there.  
(2) I \_\_\_\_\_ with my father.  
(3) I can't find my commuter pass. I \_\_\_\_\_  
(4) Sam looks sad. He \_\_\_\_\_

Think and Express! B  
(1) When did the speaker meet Daisy?  
\_\_\_\_\_  
(2) What would the speaker often do?  
\_\_\_\_\_  
(3) Why does the speaker think she should not have fed Daisy so much fish?  
\_\_\_\_\_





Express Yourself!  
① \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

Class No. Name

⑧ 問題演習シート

**Lesson 4 A Dog in a Barbershop** [問題演習シート] (p. 16)

Think and Express! A  
イラストの内容に合うように、( ) 内に適切な1語を入れなさい。  
\*( ) の語句を用いなさい。

(1) There ( ) ( ) ( ) a movie theater there. [used to]  
(2) I ( ) ( ) ( ) ( ) with my father. [would]  
(3) I can't find my commuter pass. I ( ) ( ) ( ) it at home. [must]  
(4) Sam looks sad. He ( ) ( ) ( ) the test. [may]

Class No. Name

⑨ 表現活動用提出シート

(p. 17)

**Lesson 4 A Dog in a Barbershop** [Express Yourself! 活用シート]

1 Write a passage of a few sentences about your elementary school days.

[8] When I was... / park / friend / play / read / catch fish [insects] / innocent

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

Find When I was an elementary school student (私が小学生のころ) といった書き出しに続けて、自分や身の周りの人・ものの習慣や状態について書いてみよう。2文で以降では、第1文に関する具体的な内容などを補足すればよい。  
[8] (Suggestions) の語句や、必要に応じて、以下に挙げた語句・表現を使ってもよい。  
visit my grandparents (祖父母を訪ねる)  
make friends with (～と友達になる)  
go on a hike (ハイキングに行く)  
swim in the sea (海で泳ぐ)  
bury the time capsule (タイムカプセルを埋める)

Class No. Name

⑦提出用シート（解答なし）

問題演習の解答を記入して提出するためのシートです。ノート作りにも役立ちます。また、解答例付きのシートもありますので、自学自習での答え合わせにも対応できます。

⑧問題演習 Think and Express! A シート

PART 1・2 の問題演習を空所補充形式にして、解答しやすくしたシートです。文法事項の定着用の問題演習としても活用できます。

⑨表現活動用提出シート

Express Yourself! などの表現活動につき、無理なく取り組めるように、語句のヒントをつけるなどした提出用シートを用意しました。

ほか、⑩ディクテーション用シート ⑪暗唱例文集 ⑫単語学習シート もご用意しています。

④本文

テストやプリント類の作成用データです。本課に加え、Express It Logically などのデータも収録してあります。イラスト等を用いた問題には、イラスト等のデータも掲載しています。

⑤解答・解説・スクリプト・和訳

教科書の問題の解答と各小問の解説を載せています。また、スクリプトと和訳のデータも、それぞれファイルを分けて用意しています。

⑥ハンドアウト

PART 1 の文法解説をまとめた補助プリントです。文法事項の input を促します。また、output の時間を確保する場合にも活用できます。



シラバス作成用  
資料はこちら！

## ⑬ 基本問題

**Lesson 4 A Dog in a Barbershop** 【基本問題】 (pp. 16~17)

① 日本語に合うように、( ) 内に適切な 1 語を入れなさい。

(1) 以前はニンジンが嫌いだったが、今は好きです。  
I ( ) ( ) hate carrots, but now I like them.

(2) ときどきこの公園で父とキャッチボールをしたものだ。  
I ( ) ( ) play catch with my father in this park.

(3) 以前ここには大きな桜の木がありました。  
There ( ) ( ) a big cherry tree here.

(4) 幼いころ、おばをよく訪ねたものだ。  
I ( ) ( ) my aunt when I was a little child.

② ( ) 内の語を意味が通るように並べかえなさい。

(1) Sue (have, can't, attended) the party. She has been sick since Friday.  
→ Sue \_\_\_\_\_ the party.

(2) The exam was difficult. I (studied, should, have) harder.  
→ I \_\_\_\_\_ harder.

(3) It's already past eight, so Mr. Oka (may, have, home, left).  
→ ..., so Mr. Oka \_\_\_\_\_.

(4) The road is wet. It (during, have, must, rained) the night.  
→ It \_\_\_\_\_ the night.

(5) Mark (have, this, can't, painted) picture. He is only five.  
→ Mark \_\_\_\_\_ picture.

(6) Kate was worried about me. I (her, have, called, should) earlier.  
→ I \_\_\_\_\_ earlier.

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

## ⑭ 応用問題

**Lesson 4 A Dog in a Barbershop** 【応用問題】 (pp. 16~17)

① Complete the sentences.

(1) 以前私はジャイアンツファンでした。  
I ( ) ( ) a Giants fan.

(2) 私の祖母は以前、カナダに住んでいました。  
My grandmother ( ) ( ) ( ) in Canada.

(3) その村に住んでいたときは、とれたての果物をよく食べたものだ。  
I ( ) ( ) ( ) fresh fruits when I was living in the village.

(4) ときどきその川辺で本を読んだものだ。  
I ( ) ( ) ( ) books at the riverside.

② Rewrite the underlined sentences, starting with the words given.

(1) Ann feels sick. Probably she got food poisoning from oysters.  
→ She must \_\_\_\_\_.

(2) Ryo doesn't wear his cap. Perhaps he left it on the train.  
→ He may \_\_\_\_\_.

(3) Sara is very honest. I'm sure she didn't tell such a lie.  
→ She can't \_\_\_\_\_.

(4) I couldn't finish the marathon. I regret I didn't train hard.  
→ I should \_\_\_\_\_.

③ Express the following in English.

(1) 以前ここに大きな古い邸宅 (mansion) がありました。  
\_\_\_\_\_

(2) 私たちはその写真を保存して (preserve) おくべきでした。  
\_\_\_\_\_

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

## ⑯ 観点別評価規準例・集計表：3 観点に基づく評価を記入，平均値を自動集計します。

BIG DIPPER English Logic and Expression II 観点別評価規準例

■PART 1 評価の観点 ※「言語活動の領域」に関しては、各標と「話す(やりとり)・話す(発表)・書く」を中心に、「聞く・読む」に関連づけて扱う。

L	学習内容	配当時間	学習のねらい	観点別評価規準例	
				① 知識・技能	② 思考・判断・表現
1	School Festival	1	「表現」～である(であった)」「～する(した)」「～している(していた)」などを英語で表現できる。 【話題】学校祭などの行事について、英語で表現できる。	a. 「現在の状態・習慣」「過去の状態・動作・習慣」「現在進行中の動作」「過去に進行中であった動作」を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 b. 学校祭などの行事や学校生活について、現在形・過去形、およびそれぞれの進行形を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 c. ポイントとなる時刻の用法のほかに、performance, cheer, walk a dog, chemistry experiment, research などの語彙や表現を習得している。	a. 適切な場面において will を用いて「意志」や「予測・自然の成り行き」の意味を、be doing, be going to do を用いて「近い未来の予定」や「前から計画していること」の意味を表現する。 b. 「現在形」「現在進行形」「過去形」「過去進行形」の用法に注意して、それぞれの英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。
2	A Trip to Sapporo	1	「表現」未来の予定や計画などについて、英語で表現できる。 【話題】旅行の予定や旅行中の活動などについて、英語で表現できる。	a. 英語で「未来」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 b. 旅行の予定や旅行中の活動などについて、「未来」を表す表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 c. ポイントとなる未来表現の用法のほかに、leave for, planetarium, barbecued mutton dinner, look forward to などの語彙や表現を習得している。	a. 適切な場面において will を用いて「意志」や「予測・自然の成り行き」の意味を、be doing, be going to do を用いて「近い未来の予定」や「前から計画していること」の意味を表現する。 b. 「現在形」「現在進行形」「過去形」「過去進行形」の用法に注意して、それぞれの英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。
3	My				

PART 1, L.1～16 観点別評価規準例の項目に対する評価の目安  
A: 目標が十分達成できている / B: 目標がある程度達成できている / C: 目標が達成できていない

観点		知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				集計
		評価				評価				評価				
		L.1～4	L.5～8	L.9～12	L.13～16	L.1～4	L.5～8	L.9～12	L.13～16	L.1～4	L.5～8	L.9～12	L.13～16	
1	生徒 01	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
2	生徒 02	A	A	A	B	A	A	A	B	A	A	A	B	A
3	生徒 03	A	A	B	B	A	A	B	B	A	A	B	B	B
4	生徒 04	A	A	B	C	A	A	B	C	A	A	B	C	B
5	生徒 05	A	A	C	C	A	A	C	C	A	A	C	C	B
6	生徒 06	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	B
7	生徒 07	A	B	B	B	A	B	B	B	A	B	B	B	B

## ⑰ 準拠ワークの本文・解答 / ⑱ 関連教材との対応表

ワークブック（復習用ワーク）の本文・解答データをご用意しました。

また、関連教材（参考書シリーズ）との学習ポイントの対応表も収録しています。

## ⑮ 補充問題

**Lesson 4 A Dog in a Barbershop** 【補充問題】 (pp. 16~17)

◆ 次の文を英語に直しなさい。

(1) 以前はイヌは嫌いだったが、今は小さいのは好きです。  
\_\_\_\_\_

(2) ミナは、以前はとても恥ずかしがりやで、小さい声で話していた。  
\_\_\_\_\_

(3) 以前はここに病院があった。  
\_\_\_\_\_

(4) 東京に住んでいたときは、よく上野動物園 (the Ueno Zoo) を訪れたものです。  
\_\_\_\_\_

(5) 中学生のころ、このパン屋さんによく立ち寄った (drop in at) ものだ。  
\_\_\_\_\_

(6) ジムが事務所に到着したはずがない。家を出たところだ。  
\_\_\_\_\_

(7) とても風が強い。今日のフライト (flight) は中止だったにちがいない。  
\_\_\_\_\_

(8) アキはまちがった (wrong) 電車で乗ったかもしれない。  
\_\_\_\_\_

(9) 私たちはそのような過ちを想定して (expect) おくべきだった。  
\_\_\_\_\_

(10) 彼らはその問題についてもっと早く話し合うべきだった。  
\_\_\_\_\_

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

Part 1・2 の本課について、次の3種類の問題データを収録しています。テスト作成の素材としても活用可能です。

## ⑬ 評価問題（基本問題）

本文の用例を使った反復練習問題、基礎の定着に最適です。

## ⑭ 評価問題（応用問題）

各課で学ぶポイントを含んだ応用問題。本冊の問題の類間で力試しができます。

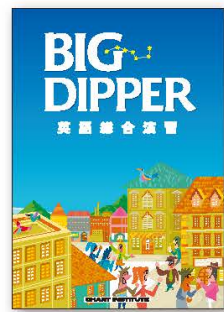
## ⑮ 補充問題

教授資料本冊に掲載した補充例文を含む英作文問題。学習ポイントをさらに定着させ、表現の幅を広げることができます。









# BIG DIPPER 英語総合演習

※本書はBIG DIPPERシリーズの2巡目用問題集です。  
(参考書の参照ページ付)

※ 本課20レッスン+EXTRA 6レッスン

※ B5判・72頁 / 別冊解答付 56頁

**受動態** (pp.142-152)

「AはBによって～される」という場合、これを受動態(=受け身)と呼び、(be動詞+動名詞)で表します。

「文法まとめ」の「動詞」に日本語を入れて、自分なりの例文を完成させましょう。

**1 基本的な受動態の形** (pp.142-143)

99 The Tale of Genji (受動態) Murasaki Shikibu (主語)  
①「～される(受)」に「～する(主)」の語形を入れ、主語を記入してください。  
②「～する(主)」の語形を入れ、主語を記入してください。

99 English (受動態) in New Zealand.  
①「～する(主)」の語形を入れ、主語を記入してください。  
②「～される(受)」の語形を入れ、主語を記入してください。

**2 受動態のいろいろな形** (pp.144-145)

95 This book (受動態) by high school students.  
①「～される(受)」の語形を入れ、主語を記入してください。  
②「～する(主)」の語形を入れ、主語を記入してください。

96 The report (受動態) just (副詞).  
①「～される(受)」の語形を入れ、主語を記入してください。  
②「～する(主)」の語形を入れ、主語を記入してください。

97 A new library (受動態) now.  
①「～される(受)」の語形を入れ、主語を記入してください。  
②「～する(主)」の語形を入れ、主語を記入してください。

**3 主語を補う受動態** (pp.146-147)

101 It (主語) he is a good doctor.  
①「～される(受)」の語形を入れ、主語を記入してください。  
②「～する(主)」の語形を入れ、主語を記入してください。

102 It was (主語) by the school nurse.  
①「～される(受)」の語形を入れ、主語を記入してください。  
②「～する(主)」の語形を入れ、主語を記入してください。

◆文法のまとめ  
→問題演習：STEP 1 (項目ごとの確認)  
STEP 2 (総合問題+部分英作文)  
の親切的な構成で、文法2巡目の学習を充実させ、  
文法事項をより一層定着させます。

**Lesson 8 受動態 (I)** (pp.142-148)

**STEP 1**

1 日本語の意味に合うように、( )内の動詞を適当な形にして空所を埋めなさい。

(1) このアプリは主に高校生に使われている。  
This app (use) mainly by high school students.

(2) 私の妹もそのバーベキューに参加した。  
My sister (invite) to the barbecue, too.

(3) QRコードは1990年代に日本で発明された。  
The QR code (invent) in Japan in the 1990s.

**2 各組の最初の文をともに( )内に動詞を入れ、受動態の文を完成させなさい。**

(1) A famous photographer took this picture.  
This picture ( ) ( ) ( ) a famous photographer.

(2) People speak Spanish in the Argentine Republic.  
Spanish ( ) ( ) in the Argentine Republic.

(3) They sell expensive watches at that shop.  
Expensive watches ( ) ( ) at that shop.  
My husband and my son made this shelf.  
This shelf ( ) ( ) ( ) my husband and my son.

(4) We import many kinds of vegetables from China.  
Many kinds of vegetables ( ) ( ) from China.

**3 日本語の意味に合うように( )内に動詞を入れなさい。**

(1) "hour"の"u"の文字は発音されない。  
The letter "u" in "hour" is ( ) ( ) .

(2) プラスチックはこの工場です。  
( ) plastic ( ) in this factory?

(3) 彼女の指輪はどこで見つかりましたか。  
( ) ( ) her ring ( ) ?

(4) 黒板には何と書かれていたのですか。  
( ) ( ) ( ) on the blackboard?

(5) その美術館は誰によって建てられたのですか。  
( ) ( ) the art museum ( ) by?

**STEP 2**

1 日本語の意味に合うように( )内に動詞を入れ、受動態の文を完成させなさい。

(1) この建物はその台風で被害を受けた。  
This building ( ) ( ) the typhoon.

(2) カケルはなぜお母さんに怒られたのですか。  
( ) ( ) Kakeru ( ) by her mother?

★(3) 明日晴れたら、その試合は行われるだろう。  
If it is fine tomorrow, the game ( ) ( ) ( ) .

(4) 世界中で新しい薬が開発されている。  
New medicine ( ) ( ) ( ) all over the world.

2 日本語の意味に合うように( )内の動詞を並べかえなさい。

(1) 「ドラえもん」は誰によって描かれたか。  
(Doraeemon / by / was / drawn / who)?

(2) そのサルはどうやって檻に捕まえられたのですか。  
(the monkey / was / caught / how)?

(3) だがそのテレビ番組で紹介されましたか。  
(on / who / introduced / was)?

(4) その問題はまだ解決されていない。  
(solved / the problem / been / hasn't)?

**TRY!** 次の英文を完成させよう！  
明日雨が降ったら、遠足は中止されるだろう。  
If it rains tomorrow, ( ) .



◆さらにCHALLENGE LESSONで、入試レベルの発展的な問題にも取り組みます (Step Up to a Challengeでは、より発展的な問題や資格・検定試験を意識した問題を掲載)。  
◆巻末のEXTRA LESSONでは、接続詞・時制の一致と語法・否定・注意すべき構文・前置詞・名詞・冠詞・代名詞の問題演習も可能です。

■<文法まとめ+STEP 1(項目対応問題)+STEP 2(総合問題)の構成で、段階的に文法演習に取り組むことができます。  
■各課1問の部分英作文[TRY!]や、CHALLENGE LESSONにより、大学入試に対応する基礎力を身につけることができます。  
■<問題+解答・解説>のデータをチャート×ラボからダウンロード可能。

**CHALLENGE LESSON 2** (pp.102-103)

1 日本語の意味に合うように( )内に動詞を入れなさい。

(1) どこにもその本を見つけない。どこにも見えない。  
I was not ( ) ( ) find the book anywhere.

(2) ショウタが本気であるはずがない。冗談を言っているにちがいない。  
Shota ( ) be serious. He ( ) be joking.

(3) 名前を書かなければなりません。一いつい、その必要はありません。  
Must I write my name? → No, you ( ) ( ) to.

2 ( )内に入る最も適当な語句をa～dから選びなさい。

\* (1) You ( ) walk alone in this neighborhood after dark.  
a. don't had better b. don't have better  
c. had better not d. had not better

\* (2) It's important that we ( ) learn about different cultures.  
a. will b. may c. should d. have

\* (3) You ( ) to take too much salt.  
a. have b. better not c. dare not d. ought not

\* (4) The door ( ) open however hard I tried.  
a. wouldn't b. won't  
c. wasn't able to d. had better not

3 各文を日本語に直しなさい。

(1) The air feels cold at the top of the mountain.

(2) My mother bought me a silk scarf at the shop.

(3) Jack always keeps all his shoes clean.

4 ( )内に入る最も適当な語句をa～dから選びなさい。

(1) The newspaper ( ) on the table for a few days.  
a. left b. was left c. was leaving d. has left

(2) A lot of lives have ( ) by the doctor.  
a. been saving b. saved c. been saved d. be saved

(3) Ken took the train this morning. His car ( ) .  
a. is repaired b. is being repaired  
c. has repaired d. repaired

5 各組の下が上の文の受動態になるように( )内に動詞を入れなさい。

(1) Bob showed me the singer's autograph.  
The singer's autograph ( ) ( ) .  
( ) ( ) by Bob.

(2) A lot of students look up to Mr. Toda.  
Mr. Toda is ( ) ( ) ( ) by a lot of students.  
They think that red chili is good for dieting.

(3) ( ) ( ) ( ) that red chili is good for dieting.

6 日本語の意味に合うように( )内の語句を並べかえなさい。

(1) 7時以降でないと会えないよ。  
(able / be / see / to / won't / you)  
I \_\_\_\_\_ before seven o'clock.

\* (2) その映画はもう始まったはずだ。(now / have / by / started / should)  
The movie \_\_\_\_\_ .

(3) この地域にはたくさんのコンビニがある。  
(a lot of / stores / are / convenience / there)  
\_\_\_\_\_ in this area.

**Step Up to a Challenge**

1 次の( )内に入れるのに最も適当なものを、①～④から1つずつ選べ。

(1) A: John was injured while playing basketball yesterday.  
B: He \_\_\_\_\_ his warm-up exercises before he played.  
① would be done ② would have done  
③ will have done ④ should have done

\* (2) Kate is feeling tired. She \_\_\_\_\_ go out tonight.  
① would not rather ② would rather not  
③ would not rather to ④ would rather not to

\* (3) Jackie was so tired after her long journey that when she finally \_\_\_\_\_ her hotel she went straight to bed.  
① got ② reached ③ arrived ④ came

2 次の状況に最も近い英文を①～④から1つ選べ。

① This sweater doesn't have to be washed in a washing machine.  
② This sweater must be washed in a washing machine.  
③ This sweater cannot be washed in a washing machine.  
④ This sweater ought to be washed in a washing machine.

**EXTRA LESSON 1 接続詞** (pp.292-303)

1 ( )内に入るand, but, or, のいずれかをいれなさい。

(1) Jane is kind ( ) polite.  
① So ② but ③ and ④ or

(2) My father bought me a cute dog ( ) I like it very much.  
① So ② but ③ and ④ or

(3) Which shall I bring to the party, food ( ) drink?  
① So ② but ③ and ④ or

(4) I'd like to join you, ( ) I'm too busy.  
① So ② but ③ and ④ or

(5) To know ( ) to teach are different things.  
① So ② but ③ and ④ or

(6) You can play outside ( ) stay home.  
① So ② but ③ and ④ or

2 日本語の意味に合うように( )内に動詞を入れなさい。

(1) 私は近所までコーヒーも買ってきた。  
I like ( ) coffee.  
① So ② but ③ and ④ or

(2) アキはスペイン語からフランス語を学びたいと思っている。  
Aki wants to learn ( ) Spanish ( ) French.  
① So ② but ③ and ④ or

(3) 彼女の名前は日本だけでなくフランスでも知られている。  
Her name is known not ( ) in Japan ( ) also in France.  
① So ② but ③ and ④ or

3 各文の( )内から適切な接続詞を選んで( )内に入れなさい。同じ接続詞を複数回使うことも可。

(1) It is obvious (whether / that) Ryota is right.  
① So ② but ③ and ④ or

(2) Whether (if / so) you are young or old doesn't matter.  
① So ② but ③ and ④ or

(3) I wonder (if / that) Takumi will come here in thirty minutes.  
① So ② but ③ and ④ or

(4) Our concern is (if / whether) Mr. Lee will run for president or not.  
① So ② but ③ and ④ or

4 1 ( )内から適切な接続詞を選んで( )内に入れなさい。同じ接続詞を複数回使うことも可。

(1) My sister was born ( ) I was five.  
① So ② but ③ and ④ or

(2) Go straight along this street ( ) you come to a bridge.  
① So ② but ③ and ④ or

(3) The man ran away ( ) he saw the police officer.  
① So ② but ③ and ④ or

(4) You'll miss the bus ( ) you don't walk much faster.  
① So ② but ③ and ④ or

(5) Kumi took some medicine ( ) she got seasick.  
① So ② but ③ and ④ or

(6) ( ) it was cold, Ben went out without an overcoat.  
[ as soon as, until, because, when, though, if ]





## ワークブック（復習用ワーク）

B5判 56頁／別冊解答(32頁) 別冊包／税込定価660円／音声CD税込標準価格264円



※検定教科書 *BIG DIPPER English Logic and Expression II* 準拠の、  
文法・機能表現などの定着を図るワークブックです。

準拠教材の  
詳細はこちら！



### 【PART 1】文法事項の復習（各課見開き2ページ構成）

**Lesson 1 School Festival**

空所補充形式でモデル文章（文法事項）を再確認

文法事項の解説・例文

基本的な文法問題

**EXERCISES**

1. 空所補充形式でモデル文章（文法事項）を再確認

2. 文法事項の解説・例文

3. 基本的な文法問題

空所補充・  
語句整理・  
英作文など  
で段階的な  
演習が可能

自己表現問題  
（ヒント付）

- 教科書に合わせたパート構成で、効率よく教科書の復習ができます。
- PART 1：文法事項の再確認＋練習問題（2ページ構成）
- PART 2：重要表現の確認＋ディクテーション（1ページ構成）
- PART 3：プレゼンテーションなどで使う表現の確認（6ページ分）
- 自己表現問題で無理なく「書く力」を養うことができます。
- ◆QRコードからの音声再生（PART 1 基本例文・PART 2 リスニング問題）や、音読練習（PART 1 基本例文）に対応しています。
- ◆別売音声CDにはPART 1の基本例文・PART 2のリスニング問題を収録しています。

### 【PART 3】発展的言語活動の復習（各活動見開き2ページ構成）

※プレゼンテーション・ディスカッション・ディベートの3見開きとなります。

**Part 3-1 Presentation**

空所補充形式で言語活動に役立つ表現を確認

**言語活動の文脈での表現練習**

### 【PART 2】場面別・機能別表現の復習（各課1ページ構成）

**Lesson 1 What's Your Favorite Dish?**

空所補充形式で重要表現を確認

ディクテーション

会話文に関する内容把握問題

自己表現問題（ヒント付）

**Lesson 2 Uniforms or Casual Clothes?**

※PART 2は各課1ページの構成です

### 【別冊解答編】※PART 1 のサンプル紙面

**Lesson 1 School Festival**

問題英文の全訳

各小問のポイント解説

文法学習上の参考情報

問題英文の全訳

各小問のポイント解説

文法学習上の参考情報



## Ⅲ エスビューアを搭載したデジタル教科書／副教材

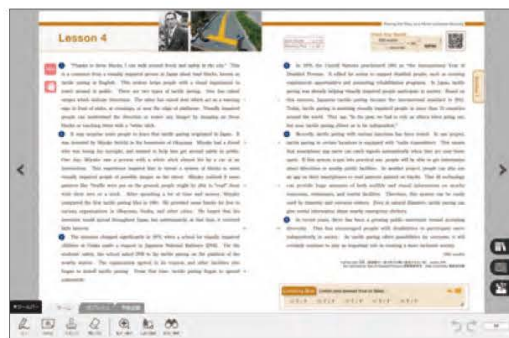


体験版はこちら！

**エスビューア**は、**Windows, iPad, Chromebook**に対応しています。

▶動作環境については弊社ホームページをご覧ください。

教科書はもちろん、参考書やグラマーテキストも**エスビューア**で利用できます。



### 基本機能

指 学 学+ 副

操作性を考慮した、**一目でわかるアイコンデザイン**を採用しています。

ペン、ふせん、スタンプ、拡大・縮小などの基本機能は、ツールバーから選択して利用できます。

(指導者用と学習者用の基本機能は共通です。)

### スライドビュー（紙面の各要素を拡大表示）

指 学 学+ 副

ワンクリックで**問題や解説などの紙面の要素を拡大表示**できます（別のタブで開きます）。

「**指導者用デジタル教科書（教材）**」では**解答表示機能**のほか、**リスニング問題のスクリプト**などの追加要素も収録しています。

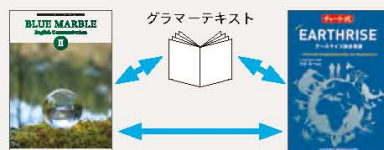
(拡大可能部分や追加要素は書籍および問題ごとに異なります)

## 生徒一人一人の学習を支援する機能を搭載！

### スムーズな教材連携

指 学 学+ 副

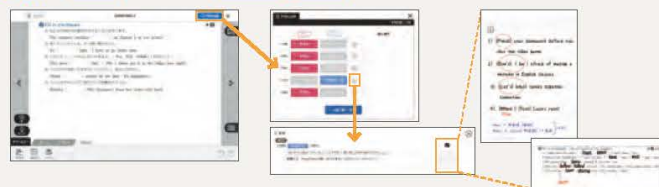
**デジタル教科書・教材**（指導者用または学習者用）と**デジタル副教材**をお持ちの場合、教材間でスムーズに連携ができます。教科書からグラマーテキストや参考書の該当ページをすぐに表示できるなど、**すべての教材を最大限に活用**できます。



### 生徒一人一人の学習の記録

指 学 学+ 副

問題はワンクリックで拡大表示できます。生徒は、その問題を解いて得た気づきを、ノート<sup>※1</sup>やコメントと合わせて、**学習の記録として残す**ことができます。



### 先生と生徒をつなぐ宿題管理<sup>※2</sup>

指 学 学+ 副

生徒の**エスビューア**へ宿題を配信することができます。配信できるデータは「**教材の問題<sup>※3</sup>**」「**PDF**」です。生徒が提出した宿題の結果を確認し、コメントを書き込んで返却することもできます。



### 柔軟な設定ができる表示制御<sup>※2</sup>

指 学 学+ 副

先生は、生徒が利用する学習者用デジタル教科書・教材／デジタル副教材に収録されている、「**答**」「**コンテンツ（解説動画）**」などについて、要素ごとに「**見せる／見せない**」を切り替えることができます。

※1 紙のノートやスライドビューへ書き込んだ内容を、写真やスクリーンショットとして記録できます。

※2 先生向け機能「宿題管理」「表示制御」は、「エスビューア 先生用サイト」で行うことができます。

※3 生徒が所持しているデジタル教科書・教材／デジタル副教材に収録されている問題です。

<収録コンテンツについて>

英語コミュニケーションⅢ：BLUE MARBLE・BIG DIPPERはSection I・IIのみ、COMETはSection Iのみテキストビュー等のコンテンツを収録しております。  
論理・表現Ⅲ：本課のみ、テキストビュー等のコンテンツを収録しております。

## 授業や自宅学習で役立つコンテンツを豊富に収録！

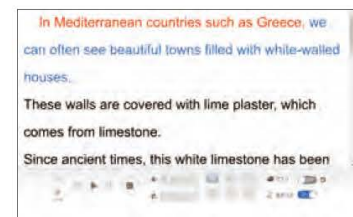
商品ごとに収録コンテンツの種類は異なります。詳細はラインアップ表をご覧ください。

※「学習者用デジタル教科書」には、教科書のQRコードからご利用いただけるコンテンツへのリンクを配置しています。

### テキストビュー

指 学 学+ 副

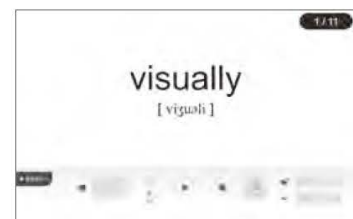
新出語や本文をワンクリックで拡大表示できます。文字サイズや行間の調整も可能です。「**指導者用デジタル教科書（教材）**」「**学習者用デジタル副教材**」では本文の日本語訳の表示機能もあり、英語と日本語訳を同時に見せることもできます。**カラオケ**、**フェードイン**、**フェードアウト**、**虫食い**、**フラッシュ**の5パターンでテキストを再生できます。また、英語コミュニケーションの本文では、テキストの**フレーズ表示**にも対応しています（音声再生時はフレーズ間に生徒が復唱するためのポーズが設けられます）。会話文（一部を除く）では、任意の話者を無音にする**ロールプレイ再生**ができます。



### フラッシュカード（英コミ）

指 学 学+ 副

新出語や本文（一部を除く）は、フラッシュカード形式で再生することができます。**英語カード**、**日本語カード**のほか、**発音記号カード（新出語のみ）**、**英日併記カード**などを組み合わせて使用できます。



〈日本語訳表示について〉※新出語は、English Communication にのみ収録。

		指導者用デジタル教科書	学習者用デジタル教科書・教材	学習者用デジタル副教材
テキストビュー	新出語 ※	○	○	×
	本文	○	×	○
フラッシュカード	新出語 ※	○	○	×
	本文	○	×	×

### スライドショー（英コミⅡ）

指 学 学+ 副

各レッスンの題材に関連する内容をスライドショー形式で紹介します。**音声**、**字幕それぞれで英語**、**日本語**、**OFF**の切り替えができます。授業の導入やリスニング活動に最適なコンテンツです。



### その他、以下の機能も搭載！

☆本文解説動画（英コミ）

指 学 学+ 副

☆参考書表示（論表Ⅱ／グラマーテキスト）

指 学 学+ 副

教科書と関連する参考書の紙面を表示することができます。

☆速読トレーニング（英コミ）

指 学 学+ 副

教科書本文について、**WPM (Words Per Minute)** の計測をしたり、**目標WPM**を設定して速読に挑戦したりできます。

☆通訳トレーニング（英コミⅡ）

指 学 学+ 副

教科書の英文を使い、「英語から日本語」または「日本語から英語」に**即座に訳して話す練習**ができます。



英語

デジタル教科書／デジタル副教材

ラインアップ

【補足：利用期間（教科書使用期間・書籍使用期間）について】  
「デジタル教科書／デジタル副教材」は販売終了後、一定の利用期間の後に配信を停止いたします。  
配信停止後はオンラインでの利用が不可となりますのでご注意ください。  
各商品の利用期間（配信期限）の最新情報は、弊社ホームページ（<https://www.chart.co.jp/software/lineup/expiry/>）をご覧ください。

指導者用デジタル教科書（教材）

電子黒板などで教科書紙面やコンテンツを拡大して提示する、先生用の教材です。

商品名	収録書籍	No.	価格(税込)	データサイズ
指導者用デジタル教科書（教材） English Communication Ⅱ	「BLUE MARBLE English Communication Ⅱ」 「BIG DIPPER English Communication Ⅱ」 「COMET English Communication Ⅱ」	54293	55,000 円	約 4.5GB
指導者用デジタル教科書（教材） English Communication Ⅲ	「BLUE MARBLE English Communication Ⅲ」 「BIG DIPPER English Communication Ⅲ」 「COMET English Communication Ⅲ」	54297	55,000 円	約 2.5GB
指導者用デジタル教科書（教材） English Logic and Expression Ⅱ	「EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Advanced」 「EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Standard」 「BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ」	54305	55,000 円	約 2GB
指導者用デジタル教科書（教材） English Logic and Expression Ⅲ	「EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Advanced」 「EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Standard」	54308	55,000 円	約 0.5GB

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：校内フリーライセンス ■購入方法：教科書取扱書店様へ ■納品物：アプリ版インストール用 DVD-ROM

■搭載機能：下記参照

基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○※1	○※2	○※2	○※3	○	—	—※4	—※4

※1 特別支援機能は含まれません。  
※2 英語コミュニケーションⅢについては、BLUE MARBLE・BIG DIPPERはSection Ⅰ・Ⅱにおいてのみ、COMETはSection Ⅰにおいてのみ、テキストビュー・フラッシュカード・スライドビュー等のコンテンツを収録しています。  
論理・表現Ⅲについては、本課においてのみ、テキストビュー・スライドビュー等のコンテンツを収録しています。  
※3 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅲには教材連携機能は含まれません。  
※4 「学習者用デジタル教科書・教材」または「学習者用デジタル副教材」ご採用時に利用可能な機能です。

学習者用デジタル教科書

生徒一人一人の端末で使用する、制度化された「学習者用デジタル教科書」です。

科目	商品名	No.	価格(税込)	データサイズ
英語コミュニケーションⅡ	学習者用デジタル教科書 BLUE MARBLE English Communication Ⅱ	4384176D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 BIG DIPPER English Communication Ⅱ	4384191D12		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 COMET English Communication Ⅱ	4384206D12		約 0.5GB
英語コミュニケーションⅢ	学習者用デジタル教科書 BLUE MARBLE English Communication Ⅲ	4384181D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 BIG DIPPER English Communication Ⅲ	4384196D12		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 COMET English Communication Ⅲ	4384211D12		約 0.5GB
論理・表現Ⅱ	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Advanced	4384221D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Standard	4384236D12		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ	4384251D12		約 0.5GB
論理・表現Ⅲ	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Advanced	4384226D12	各 550 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Standard	4384241D12		約 0.5GB

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：生徒1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書

■搭載機能：下記参照

基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○※1	—	—※2	—	—	—	—	—

※1 特別支援機能は含まれません。  
※2 教科書のQRコードからご利用いただけるコンテンツへのリンクを配置しています。

学習者用デジタル教科書・教材

制度化された「学習者用デジタル教科書」と、各種「デジタルコンテンツ」がセットになった商品です。

「教材連携」「学習の記録」「宿題管理」「表示制御」機能に対応しています。

科目	商品名	No.	価格(税込)	データサイズ
英語コミュニケーションⅡ	学習者用デジタル教科書・教材 BLUE MARBLE English Communication Ⅱ	4384176D11	各 935 円	約 1.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 BIG DIPPER English Communication Ⅱ	4384191D11		約 1GB
	学習者用デジタル教科書・教材 COMET English Communication Ⅱ	4384206D11		約 1GB
英語コミュニケーションⅢ	学習者用デジタル教科書・教材 BLUE MARBLE English Communication Ⅲ	4384181D11	各 935 円	約 1.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 BIG DIPPER English Communication Ⅲ	4384196D11		約 1GB
	学習者用デジタル教科書・教材 COMET English Communication Ⅲ	4384211D11		約 1GB
論理・表現Ⅱ	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Advanced	4384221D11	各 935 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅱ Standard	4384236D11		約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ	4384251D11		約 0.5GB
論理・表現Ⅲ	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Advanced	4384226D11	各 935 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅲ Standard	4384241D11		約 0.5GB

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：生徒1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書 ■搭載機能：下記参照

基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○※1	○※2	○※2	○※3	○	—	○※4	○※4

※1 特別支援機能は含まれません。  
※2 表示される内容が「指導者用デジタル教科書(教材)」とは異なります。  
英語コミュニケーションⅢについては、BLUE MARBLE・BIG DIPPERはSection Ⅰ・Ⅱにおいてのみ、COMETはSection Ⅰにおいてのみ、テキストビュー・フラッシュカード・スライドビュー等のコンテンツを収録しています。論理・表現Ⅲについては、本課においてのみ、テキストビュー・スライドビュー等のコンテンツを収録しています。  
※3 英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅲには教材連携機能は含まれません。 ※4 先生は「エスビュー先生用サイト」より設定する必要があります。

学習者用デジタル副教材

生徒一人一人または先生用の端末で使用する、デジタル副教材です。

シリーズ	商品名	No.	価格(税込)		データ サイズ
			書籍購入なし	書籍購入あり	
基礎からの 新々総合英語	学習者用デジタル版 新訂版 チャート式シリーズ GRAND EARTH 基礎からの新々総合英語	4311166D01	1,705 円	550 円	約 1GB
EARTHRISE	* 学習者用デジタル版 チャート式シリーズ EARTHRISE アースライズ総合英語 — Practical English Grammar and Expressions	4311081D01	1,716 円	550 円	約 1.5GB
	学習者用デジタル版 EARTHRISE English Grammar in 33 Stages	4336131D01	748 円	330 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル版 EARTHRISE English Grammar in 24 Stages	4336136D01	704 円	330 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル版 EARTHRISE English Grammar in 22 Stages	4336141D01	649 円	330 円	約 0.5GB
BIG DIPPER	* 学習者用デジタル版 チャート式シリーズ BIG DIPPER ビッグ・ディッパー高校英語	4311107D01	1,628 円	550 円	約 1GB
	学習者用デジタル版 BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 25 STAGES 25 ディッパー英文法	4336227D01	671 円	330 円	約 0.5GB
	学習者用デジタル版 BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES 21 ディッパー英文法	4336327D01	649 円	330 円	約 0.5GB

\* は2026年3月に改訂版を発行予定です。販売中のⅡ・Ⅲと併用いただく場合は、改訂版ではなく、内容がより運動している初版のデジタル副教材をおすすめいたします。

■利用期間：書籍使用期間 ■ライセンス：生徒1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書 ■搭載機能：下記参照

基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○※1	○	○	○	○	—	○※2	○※2

※1 特別支援機能は含まれません。 ※2 先生は「エスビュー先生用サイト」より設定する必要があります。  
(注)学習者用デジタル副教材をご採用の場合でも、紙の書籍ご採用時と同様にご採用校専用データをチャート×ラボからダウンロードできます。  
(注)学校採用にて書籍をご購入の場合は、「書籍購入あり」価格(上記)で販売いたします(学習者用デジタル副教材のみ)。  
ただし、書籍と学習者用デジタル副教材の使用者が同じ場合に限ります。

ー学習者用デジタル副教材を先生が拡大提示する場合についてー

- 授業を受ける生徒全員が、該当する紙の書籍または学習者用デジタル副教材を所有している場合は、先生による拡大提示用途としてご利用いただけます。
- 授業を受ける生徒全員が、該当する紙の書籍または学習者用デジタル副教材を所有していない状況(または一部生徒しか所有していない場合)で、先生による拡大提示用途としてご利用いただく場合は、ユーザーライセンスに加えて「提示用オプション」をご購入いただく必要がございます。

ご利用までの流れ、および動作環境等の詳細につきましては、弊社ホームページをご覧ください。または営業員までお問い合わせ下さい。



# 指導用教材ラインナップ

\* 指導者用デジタル教科書(教材)はp.46に掲載。

書籍NO	書名	税込価格	仕様・掲載内容など
45398	BIG DIPPER English Logic and Expression II TEACHER'S MANUAL	24,200円	① 本冊 (教科書ページごとの詳細な解説) ② Teacher's Book ③ DVD-ROM1枚 (教科書・TB紙面PDFデータ/授業用スライドデータ/本文・解答例等データ/準拠ワークデータ/各種テスト等を収録)
45598	BIG DIPPER English Logic and Expression II Teacher's Book	3,850円	解答例・スクリプトなどを掲載。
58578	BIG DIPPER English Logic and Expression II TEACHER'S MANUAL PDFファイル版	6,600円	DVD-ROM1枚 TEACHER'S MANUALの紙面PDFを収録。
58547	BIG DIPPER English Logic and Expression II 指導用CD	16,500円	指導用音声CD (4枚)

＼指導に役立つ情報や教材データをお届け／

## 先生のための会員制サイト **チャート×ラボ**

### 「チャート×ラボ」で何ができるの？

- ご採用の教材に関連したデータのダウンロードや、数研出版が作成したプリントデータを生徒のタブレットやスマートフォンに配信することができます。
- 指導者用デジタル教科書(教材)、学習者用デジタル副教材の体験版をお試いただけます。
- 数研出版主催のセミナーにお申込みいただけます。

会員限定の情報も  
お届けするよ

くわしくはこちら <https://lab.chart.co.jp/>

※「チャート×ラボ」のご利用は、教育機関関係者（小学校・中学校・高等学校・大学などの学校に勤務されている方、教育委員会・教育センターなど教育関係職員の方）に限定しております。



数研出版コールセンター TEL: 075-231-0162 FAX: 075-256-2936



東京本社 〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町 2-3-3  
関西本社 〒604-0861  
京都市中京区烏丸通竹屋町上る大倉町 205  
関東支社 〒120-0042  
東京都足立区千住龍田町 4-17  
支店…札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡

本カタログに記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。  
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。  
本カタログで使用されている商品の写真は出荷時のものと一部異なる場合があります。  
本カタログに掲載されている仕様及び価格等は予告なしに変更することがあります。  
返品に関する特約：商品に欠陥のある場合を除き、お客様のご都合による商品の返品・交換は受けられません。  
151502